



院内感染に関する生活者（患者）の  
意識・実態調査  
結果報告書

IV. クロス集計結果および分析

**株式会社INTAGE**

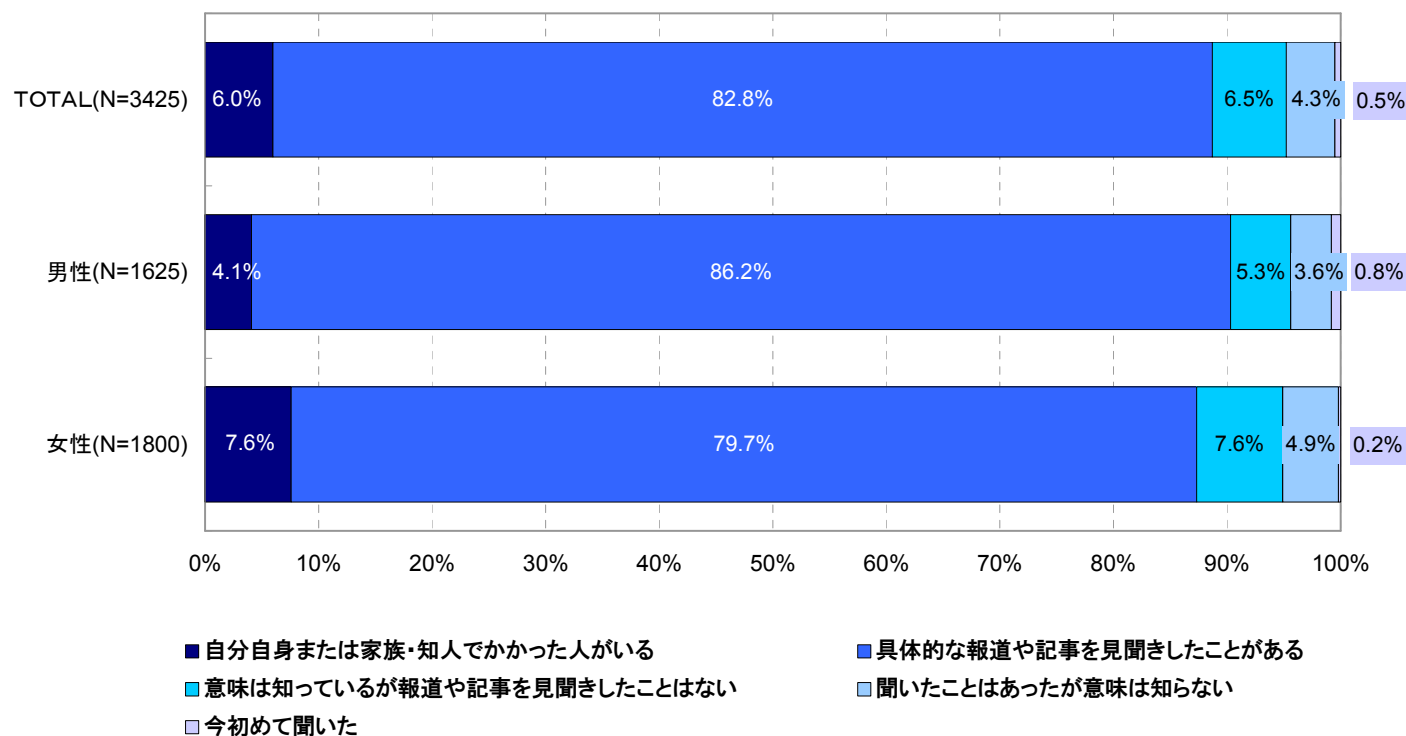
**2004.11.15**

- I. 調査概要
    - 1. 調査目的
    - 2. 調査設計
  - II. 調査結果要約
    - 1. 全体サマリー
    - 2. エリア別サマリー
  - III. 単純集計結果および分析
  - IV. クロス集計結果および分析
- 付. 調査票

# Q1.「院内感染」の認知状況 Q1 \* 性

女性は男性に比べ認知度の低い人の割合が多いが、同時に院内感染にかかった経験をもつ割合は男性より高く傾向が分かれている。

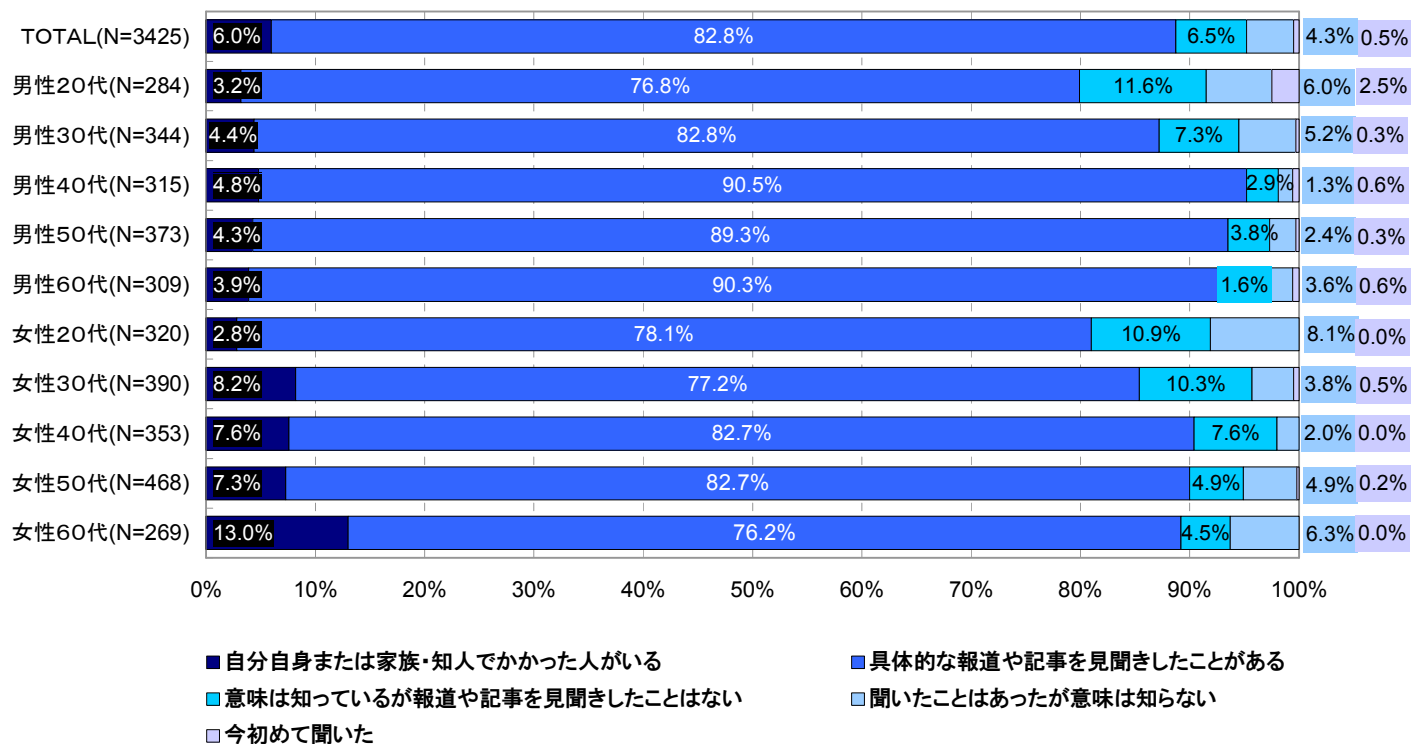
Q1：院内感染の認知 × F2：性別（単一回答）



# Q1\*性年齢

男女共に20代では2割近くが「今初めて聞いた」～「意味は知っているが報道や記事を見聞きしたことはない」という低い認知状況である。次いで女性30代、男性30代の順で認知が低い。逆に女性60代では全体平均の2倍以上も「自分自身又は家族・知人で院内感染にかかった人がいる」と回答しており目立つ。

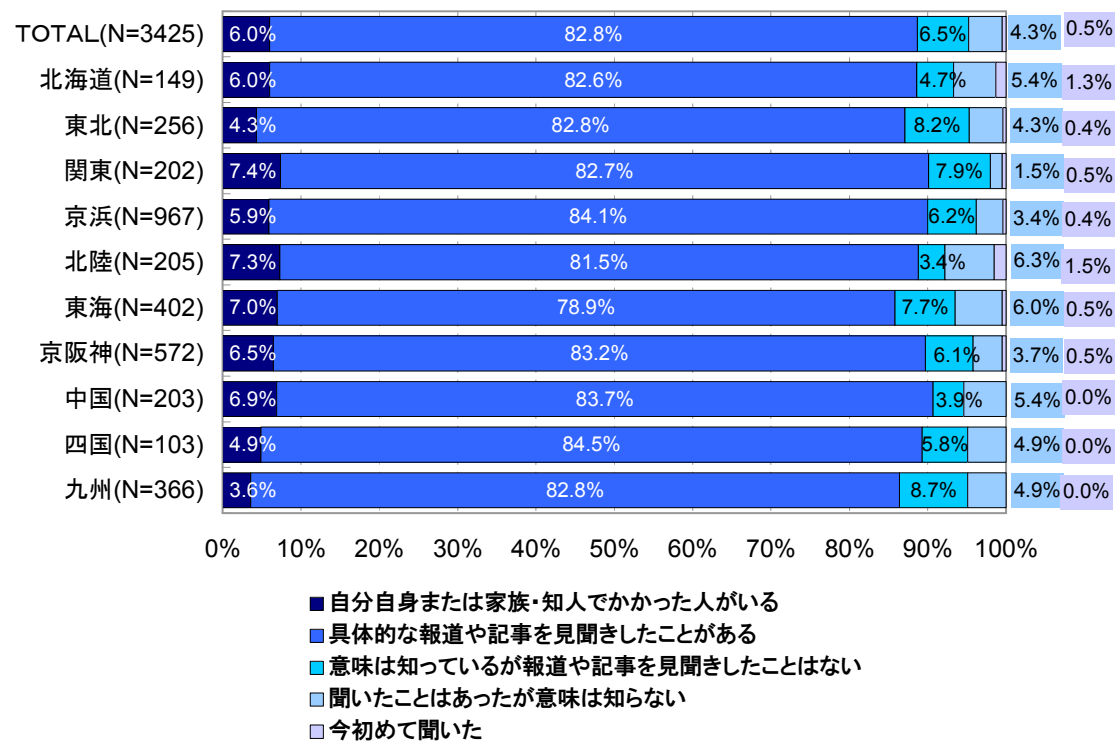
Q1：院内感染の認知 × F1：性年齢別（単一回答）



# Q1 \* エリア

北海道・北陸・東海で「今初めて聞いた～聞いたことはあったが意味は知らない」率がやや高い。また九州・東北・関東・東海では「院内感染に関する報道や記事を見聞きした事がない」人が他エリアよりやや多い。

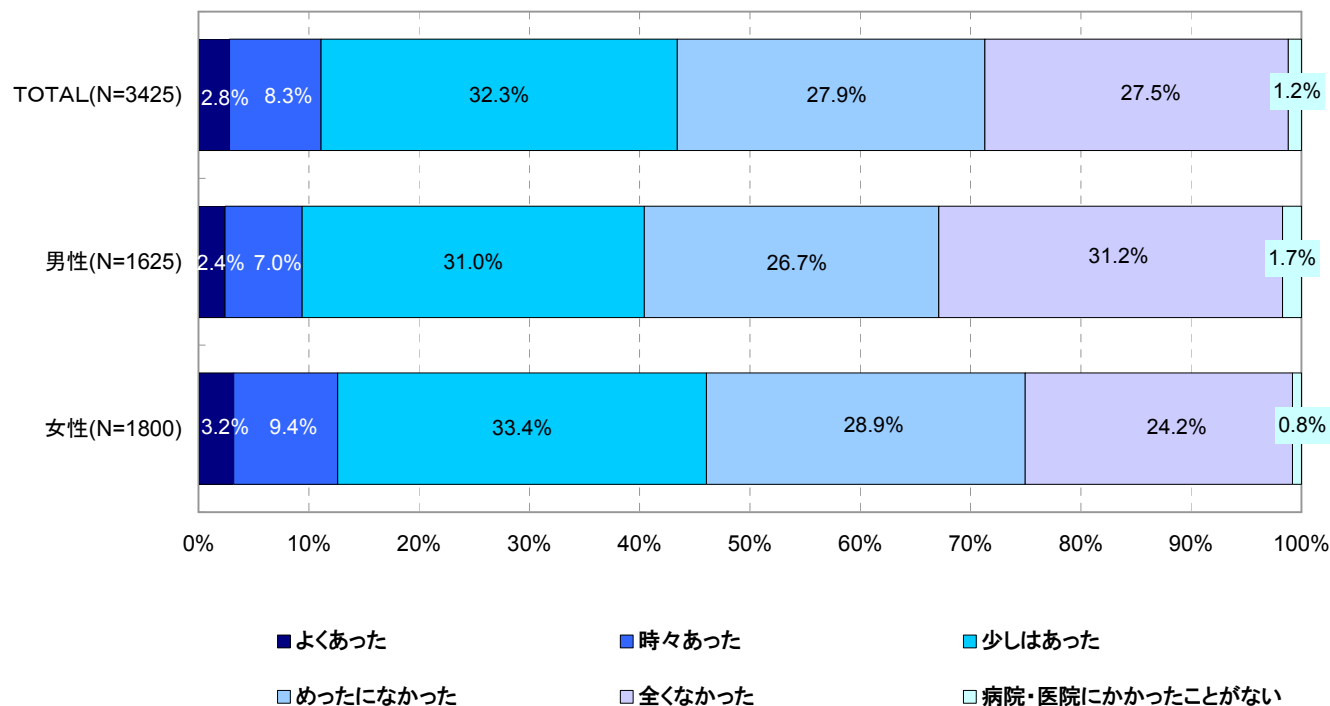
Q1 : 「院内感染」の認知状況  
× F3 エリア別 (単一回答)



## Q2.自分自身が院内感染の不安を感じた経験 Q2\*性

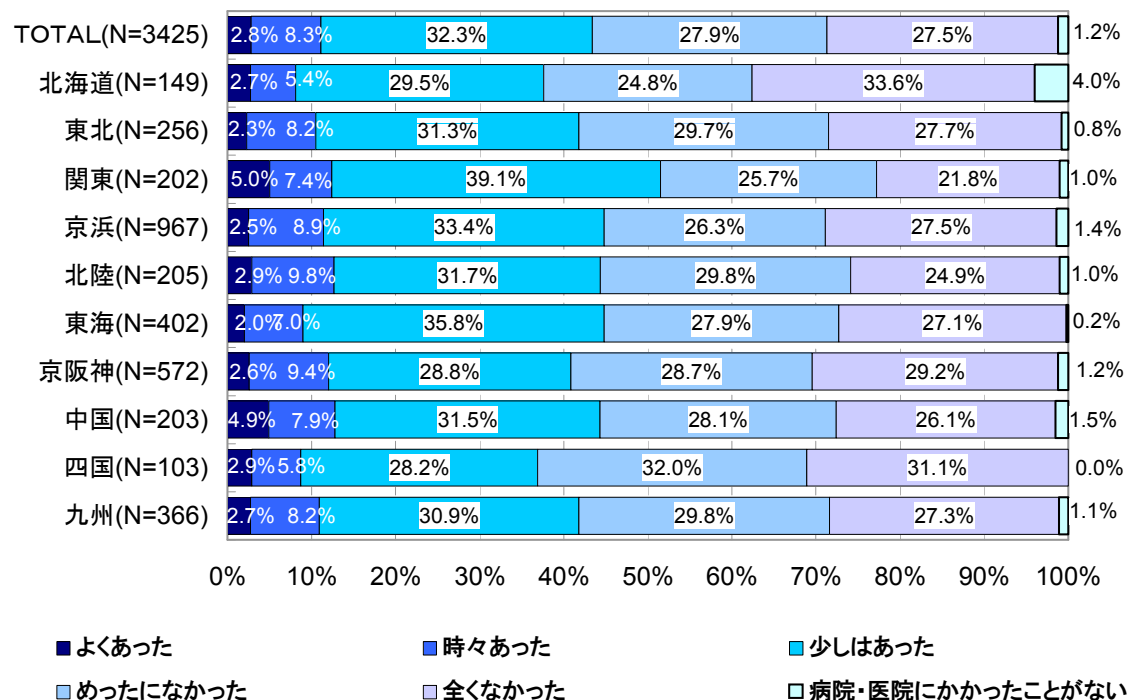
女性の方が男性より院内感染の不安を感じた頻度が高い。

Q2：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた経験 × F2：性別（単一回答）



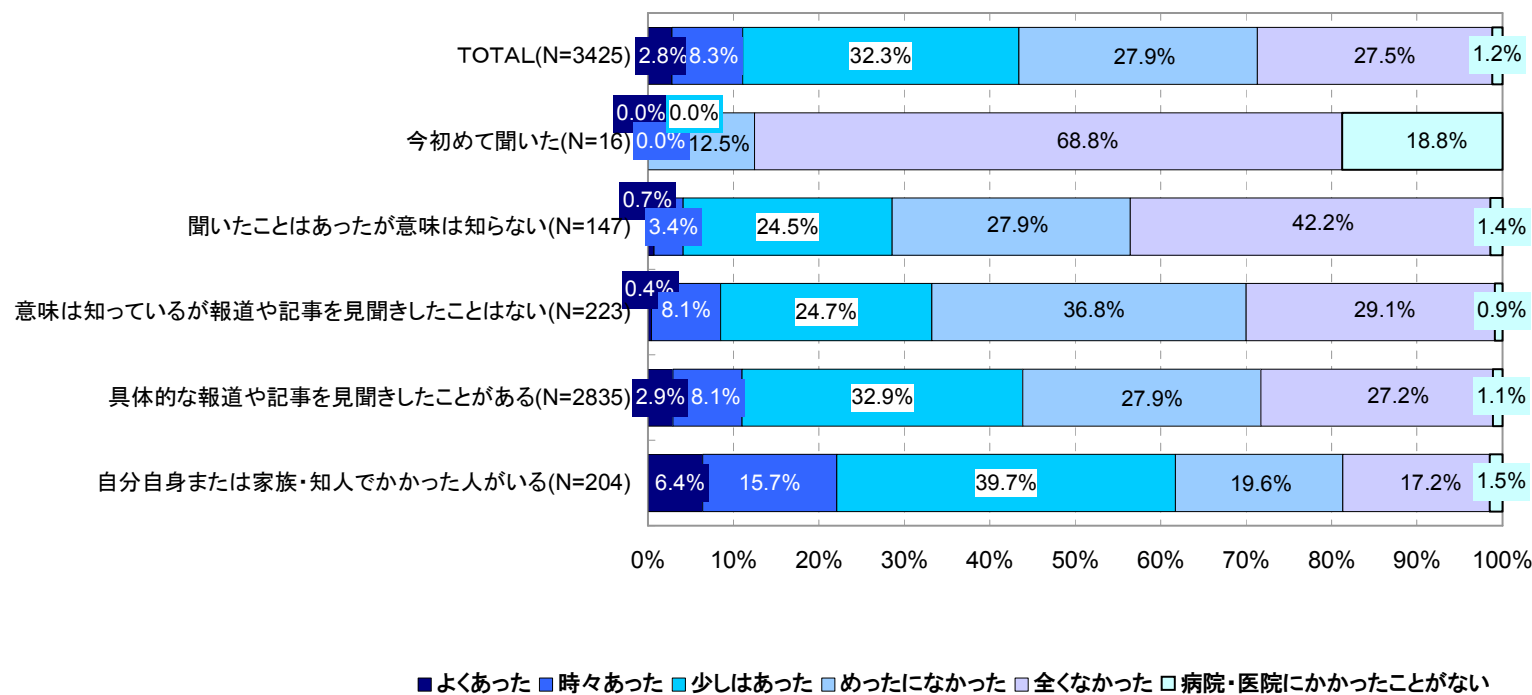
「よくあった」または「時々あった」という高頻度経験率が全体平均より目だって多いのは関東・北陸・京阪神・中国である。関東では「少しはあった」も含めた総経験率では全体平均を大きく上回る。逆に「少しはあった」も含めた総経験率が低いのは北海道・四国・京阪神である。

Q2：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた経験  
×F3 エリア別（単一回答）



院内感染に関する認知度が高いほど、院内感染の不安を感じた経験頻度も高い。

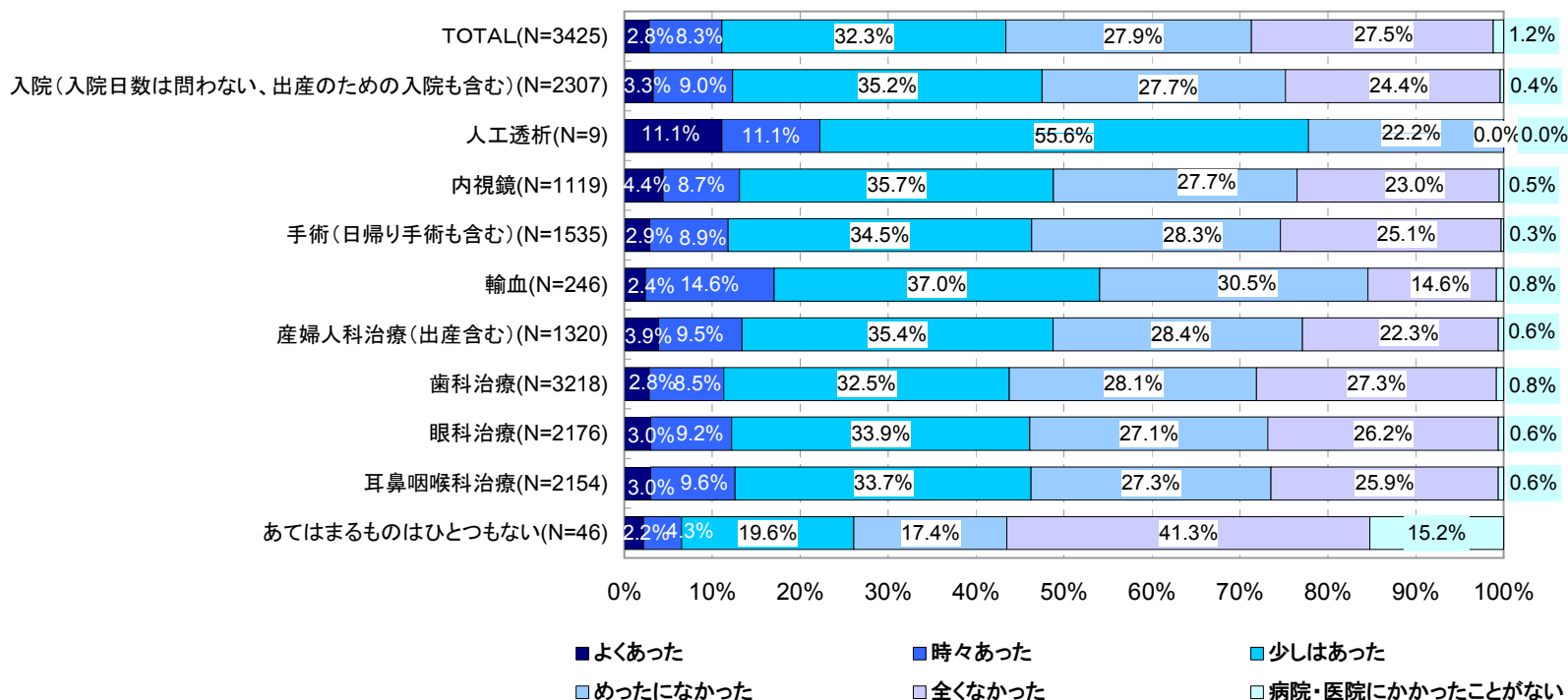
Q2：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた経験×Q1：院内感染の認知（単一回答）





これまでの医療経験別に院内感染の不安を感じた経験頻度を見ると「医療経験なし」の人に比べ何らかの医療経験ありの人は医療経験の種類を問わず院内感染の不安を感じた割合が高い。医療経験の種類別では「輸血」経験者が他の医療経験よりも不安の頻度・程度ともに高い。「人工透析」経験者は飛びぬけて高い不安経験率だが小サンプル数のため参考値とする。

Q2：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた経験  
 × Q8：これまでの医療経験について（単一回答）



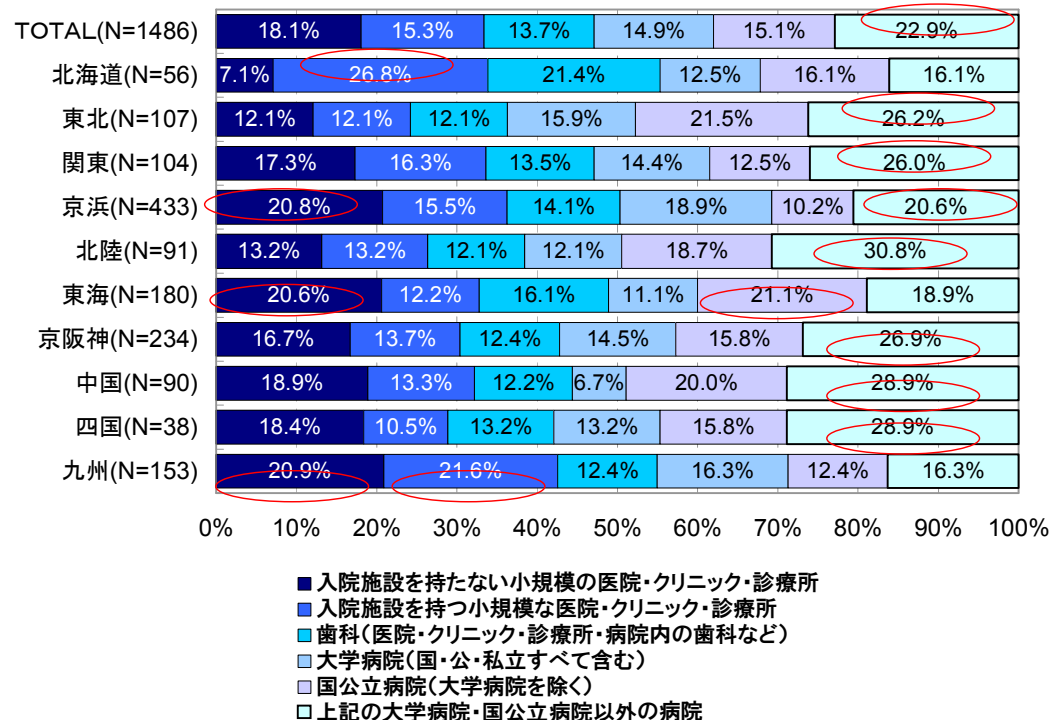
# Q2SQ1.自分自身が院内感染の不安を感じた医療機関タイプ

## Q2SQ1 \* エリア



院内感染の不安を経験した医療機関のタイプは全体的には「大学病院・国公立病院以外の一般病院」が多くのエリアで最多回答として挙げられている。エリア別の特徴としては、京浜・東海・九州で「入院施設を持たない小規模な医院・クリニック・診療所」が高く、北海道・九州では「入院施設を持つ小規模な医院・クリニック・診療所」が最多回答に挙げられている。また東海では「国公立病院」が最多回答として挙げられている。

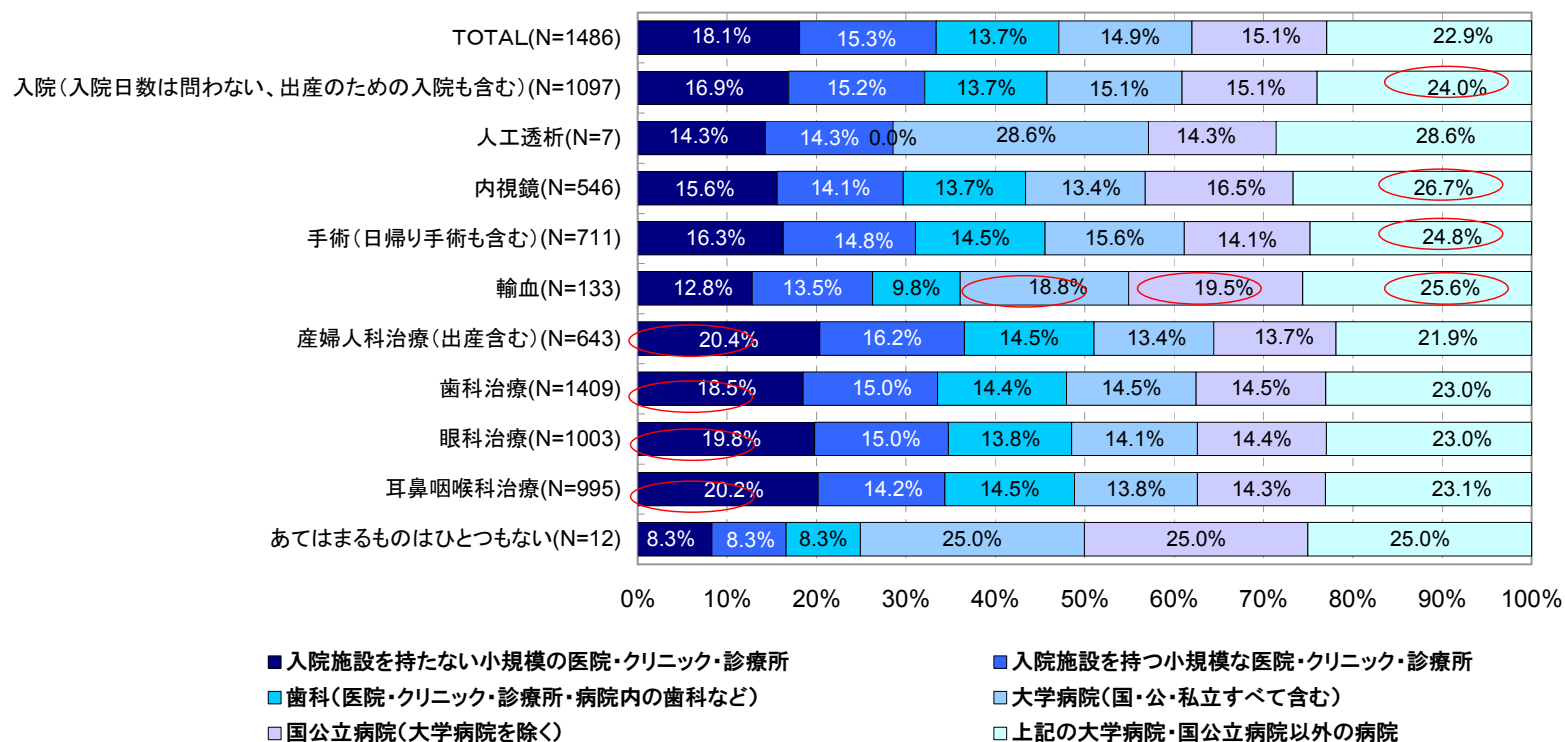
Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ  
× F3 エリア別（単一回答）



# Q2SQ1\*Q8

これまでの医療経験別にどの医療機関で院内感染の不安を感じたかを見てみると産婦人科/歯科/眼科/耳鼻咽喉科治療では「入院施設を持たない小規模な医院」が相対的に多い。これはこれら診療科は開業医が多いことからと考えられる。入院・内視鏡・手術・輸血では「大学病院・国公立病院以外の病院」が相対的に多い。

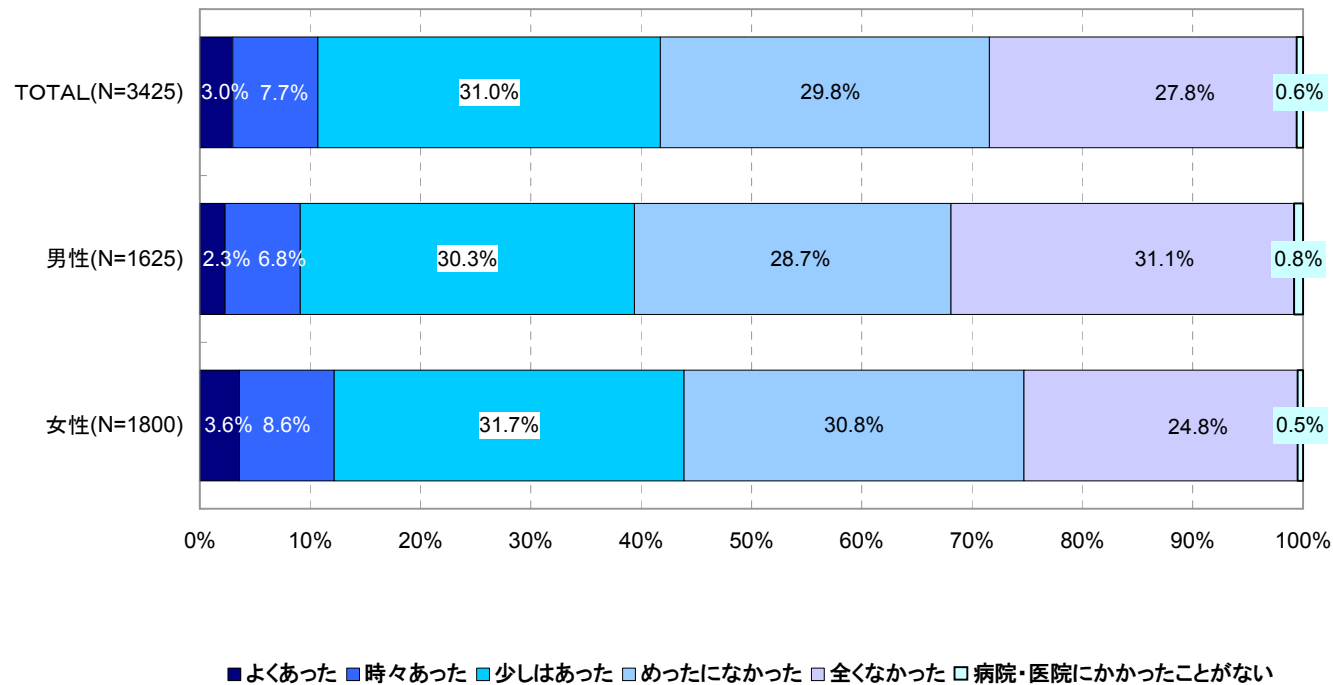
Q2\_\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ  
 × Q8：これまでの医療経験について（単一回答）



# Q3.自分の家族に対して院内感染の不安を感じた経験

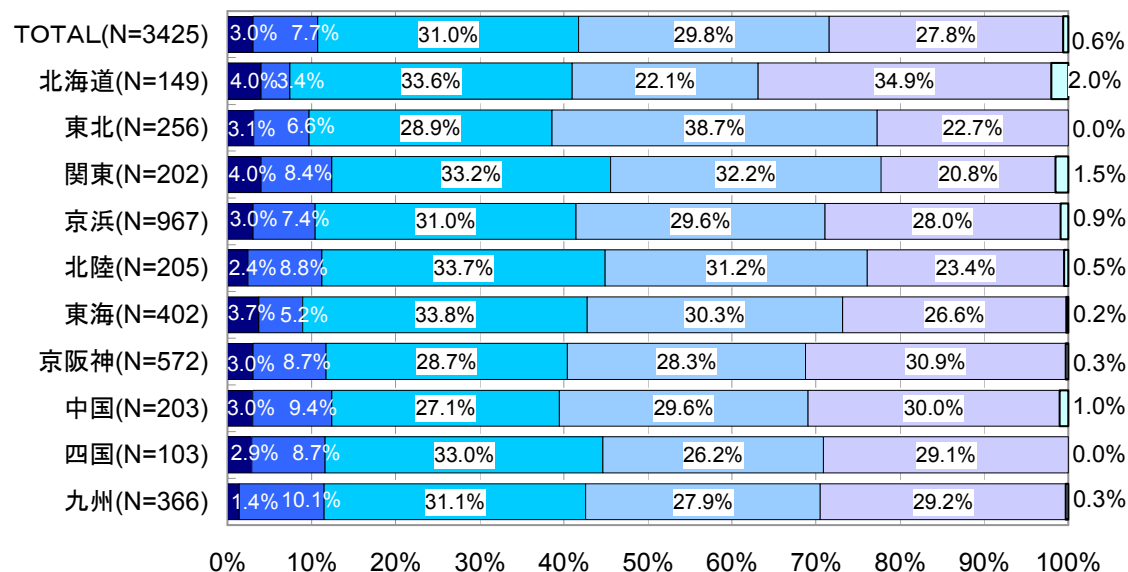
家族の院内感染についての不安経験も男性より女性の方が多い。

Q3：自分の家族が院内感染するのではないかと不安や危機を感じた経験  
× F 2：性別（単一回答）



家族が院内感染するのではないかという不安を感じた経験率（「よくあった」～「少しはあった」まで）は関東・北陸・東海・四国などで相対的に高い。

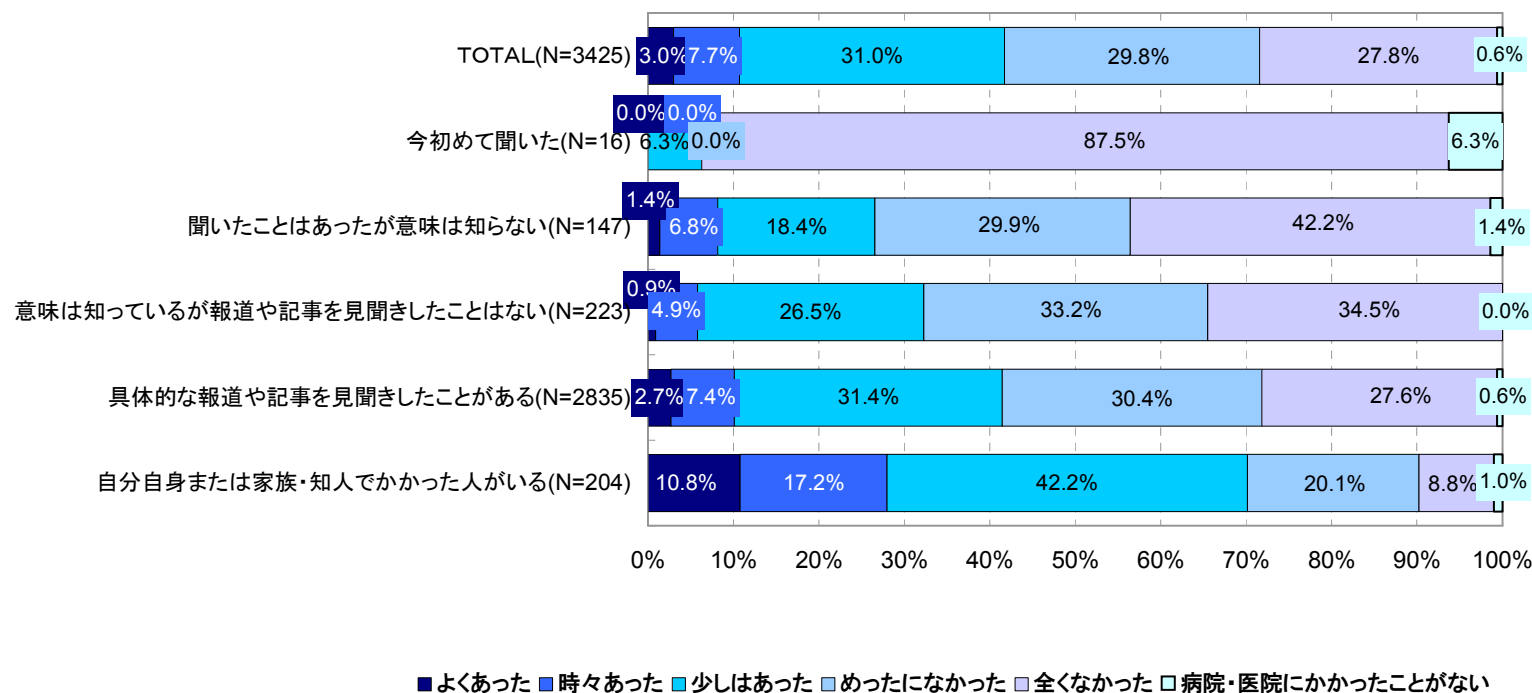
Q3：自分の家族が院内感染するのではないかという不安や危険を感じた経験  
× F3 エリア別（単一回答）



■よくあった ■時々あった ■少しはあった ■めったになかった ■全くなかった □病院・医院にかかったことがない

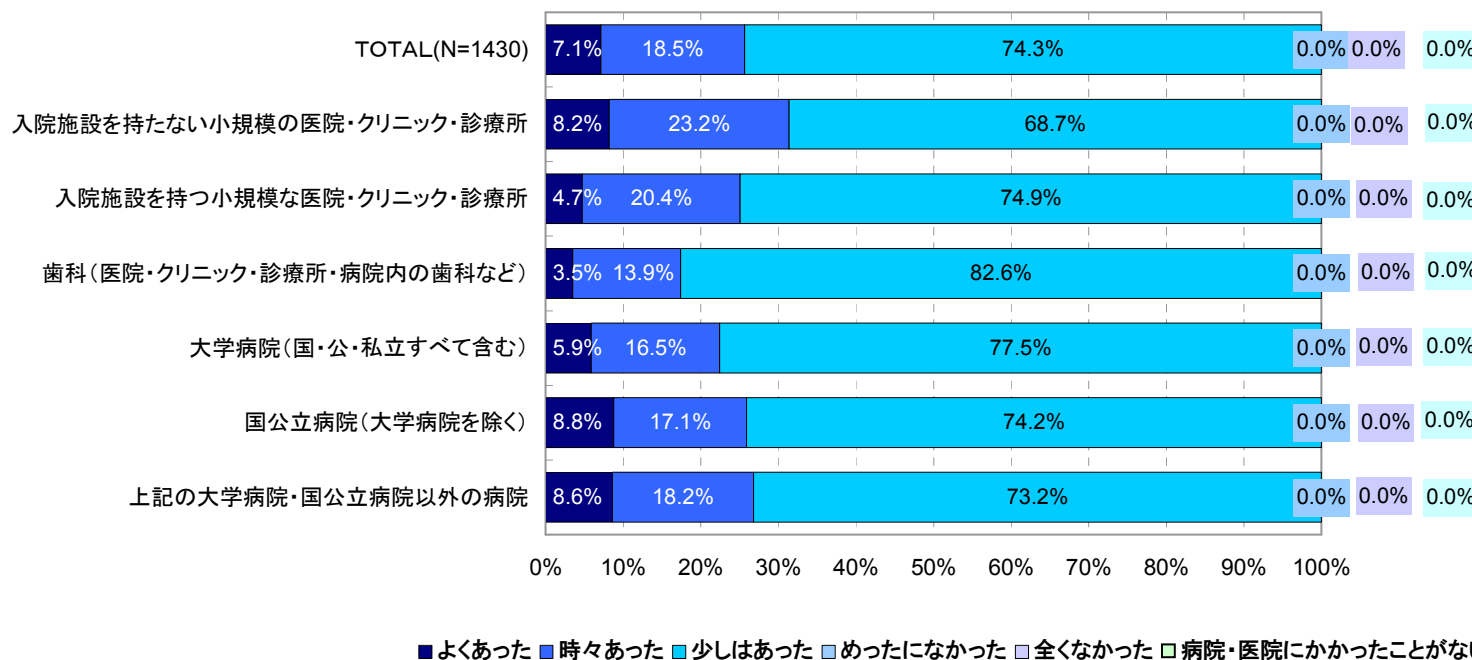
自分の家族に対する院内感染の不安経験も本人の院内感染に関する認知度によって異なる。

Q3：自分の家族が院内感染するのではないかという不安や危機を感じた経験  
 × Q1：院内感染の認知（単一回答）



家族について院内感染の不安を感じた頻度（「よくあった」＋「時々あった」）を医療機関のタイプ別に見ると、「入院施設を持たない小規模の医院/クリニック/診療所」、「大学/国公立病院以外の一般病院」、「国公立病院」、「入院施設を持つ小規模な医院/クリニック/診療所」の順。自分自身の場合と傾向が異なる点は歯科が低い点。歯科の診療室には家族は一般的には立ち入れないため、実態が把握できないからと思われる。

Q3：自分の家族が院内感染するのではないかという不安や危険を感じた経験  
 ×Q3\_SQ1：家族が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



# Q4.医療行為や施設設備から院内感染が気になった程度

## Q4\*Q1

院内感染に関する認知レベルが高いほど①から⑫のすべての項目について院内感染の不安を感じた程度が強い。

Q4 医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度  
× Q1院内感染の認知別 平均スコア

	待合室を含め院内の空気が清浄化されているか	診察室や病室のドアの取っ手が清潔か	水道の蛇口が自動水栓か	トイレにペーパータオルが備えられているか	診察の際に医師や看護師が手をよく洗っているか	患者毎に使い捨てタイプの医療用器具を使用しているか	医師や看護師が使用する事務用品が抗菌か	医師や看護師が使い捨てタイプのマスクを装着しているか	医師や看護師が使い捨てタイプのゴム手袋を装着しているか	医師や看護師が使い捨てタイプのエプロンを装着しているか	ピンセットやメスなどの一般的な医療用具が適切に洗浄・消毒されているか	診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態が適切か
TOTAL	0.5	0.2	0.0	0.1	0.6	1.0	-0.3	0.1	0.4	-0.1	0.9	0.9
今初めて聞いた	0.1	-0.3	-0.4	-0.5	0.1	0.1	-0.3	-0.2	-0.1	-0.4	-0.1	0.1
聞いたことはあったが意味は知らない	0.2	-0.1	-0.3	-0.2	0.4	0.7	-0.5	-0.2	0.1	-0.4	0.7	0.8
意味は知っているが報道や記事を見聞きしたことはない	0.5	0.1	-0.2	-0.1	0.4	0.9	-0.3	0.0	0.3	-0.1	0.8	0.9
具体的な報道や記事を見聞きしたことがある	0.5	0.2	0.0	0.1	0.6	1.0	-0.4	0.0	0.4	-0.1	0.9	0.9
自分自身または家族・知人がかかった人がある	0.7	0.5	0.3	0.3	0.9	1.1	-0.2	0.4	0.7	0.2	1.1	1.2



# Q4全項目\*Q2SQ1

院内感染の不安を感じた医療機関のタイプ別に気になった程度の平均スコアが全体平均よりも高い項目を挙げる。

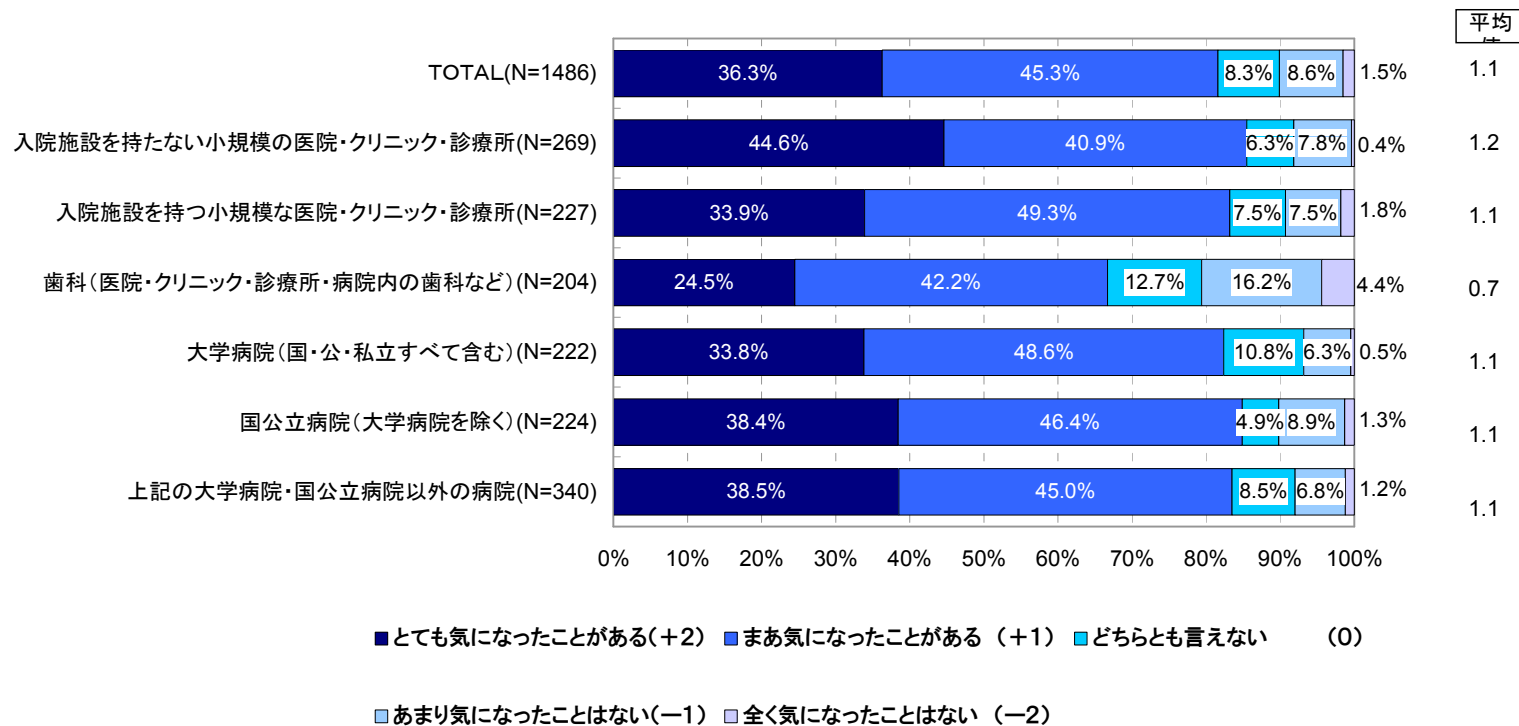
Q4 医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度  
 ×Q2\_SQ1 自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別 平均スコア

	待合室を含め院内の空気が清浄化されているか	診察室や病室のドアの取っ手が清潔か	水道の蛇口が自動水栓か	トイレにペーパータオルが備えられているか	診察の際に医師や看護師が手をよく洗っているか	患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用しているか	医師や看護師が使用する事務用品が抗菌仕様か	医師や看護師が使い捨てタイプのマスクを装着しているか	医師や看護師が使い捨てタイプのゴム手袋を装着しているか	医師や看護師が使い捨てタイプのエプロンを装着しているか	ピンセットやメスなどの一般的な医療用具が適切に洗浄・消毒されているか	診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態が適切か
TOTAL	1.1	0.7	0.4	0.4	1.0	1.3	0.0	0.4	0.8	0.3	1.3	1.3
入院施設を持たない小規模の医院・クリニック・診療所	1.2	0.7	0.3	0.3	1.0	1.2	-0.2	0.2	0.6	0.1	1.2	1.2
入院施設を持つ小規模な医院・クリニック・診療所	1.1	0.7	0.5	0.5	1.0	1.4	0.1	0.6	0.8	0.4	1.3	1.4
歯科(医院・クリニック・診療所・病院内の歯科など)	0.7	0.6	0.4	0.4	1.2	1.5	0.0	0.5	1.0	0.4	1.6	1.2
大学病院(国・公・私立すべて含む)	1.1	0.7	0.5	0.5	1.1	1.4	0.1	0.6	0.9	0.4	1.3	1.5
国公立病院(大学病院を除く)	1.1	0.8	0.5	0.5	1.0	1.3	0.0	0.4	0.8	0.3	1.2	1.3
上記の大学病院・国公立病院以外の病院	1.1	0.8	0.5	0.4	1.0	1.2	-0.1	0.4	0.7	0.2	1.3	1.3

# Q4①\*Q2SQ1

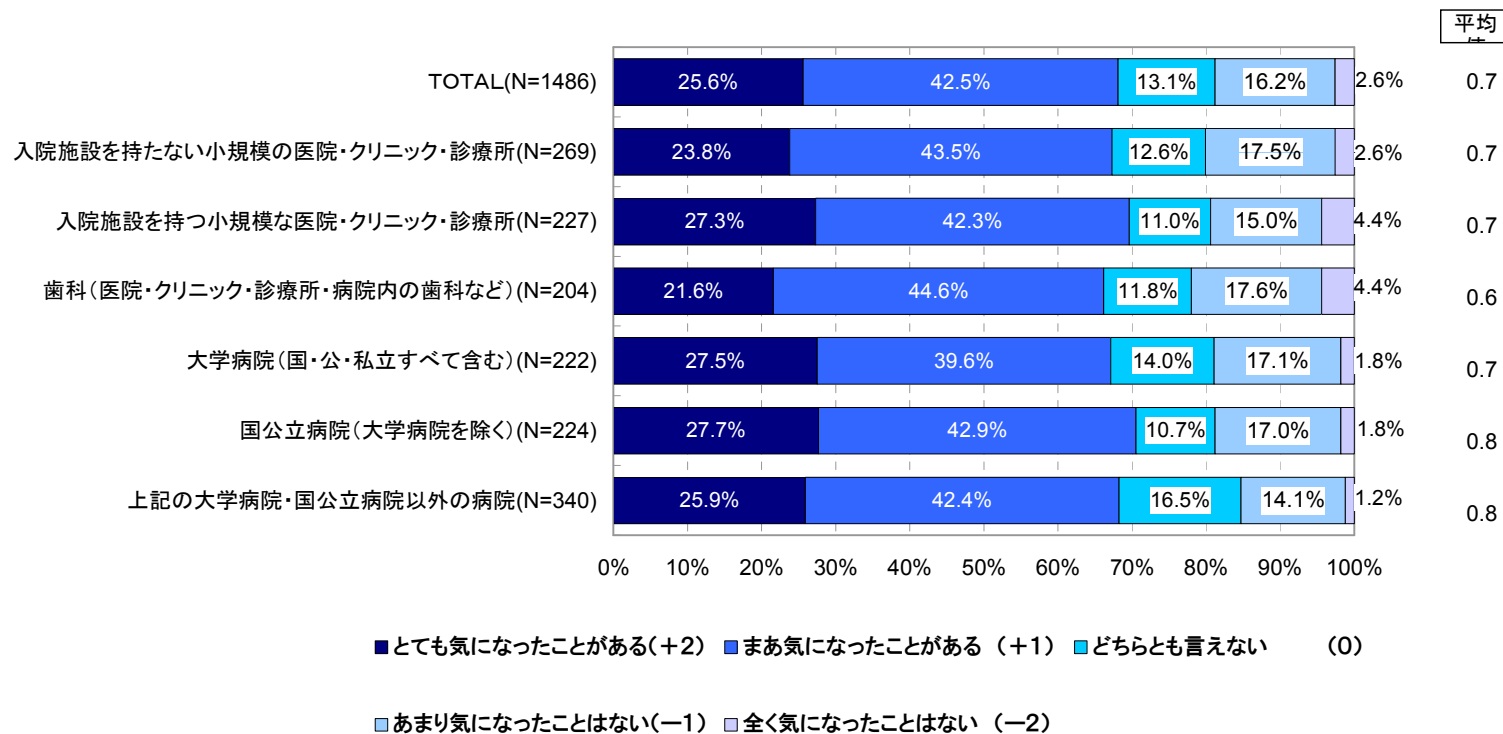
「待合室を含め院内の空気が清浄化されているか」については「入院施設を持たない小規模の医院/クリニック/診療所」が目立って「とても気になったことがある」との回答が多い。「まあ気になったことがある」も含めた気になったことがある合計では、歯科を除くすべての医療機関タイプでほぼ同程度である。

Q4①：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 待合室を含め院内の空気が清浄化されているか  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



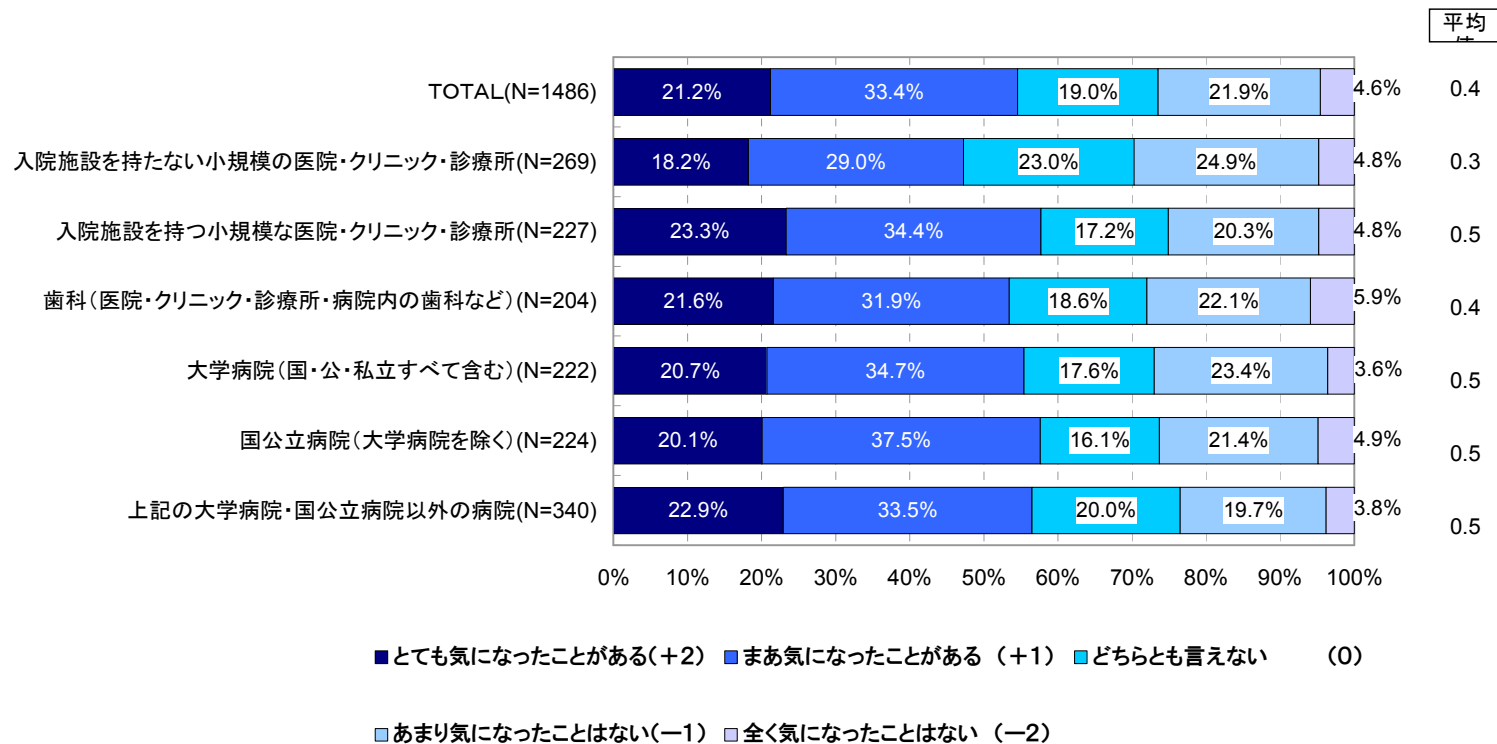
「診察室や病室のドアの取っ手が清潔か」については「とても気になったことがある」で「国公立病院」、「大学病院」、「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」がやや多いが、「まあ気になったことがある」も含めた気になった経験合計では医療機関による大きな差はない。

Q4②：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 診察室や病室のドアの取っ手が清潔か  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



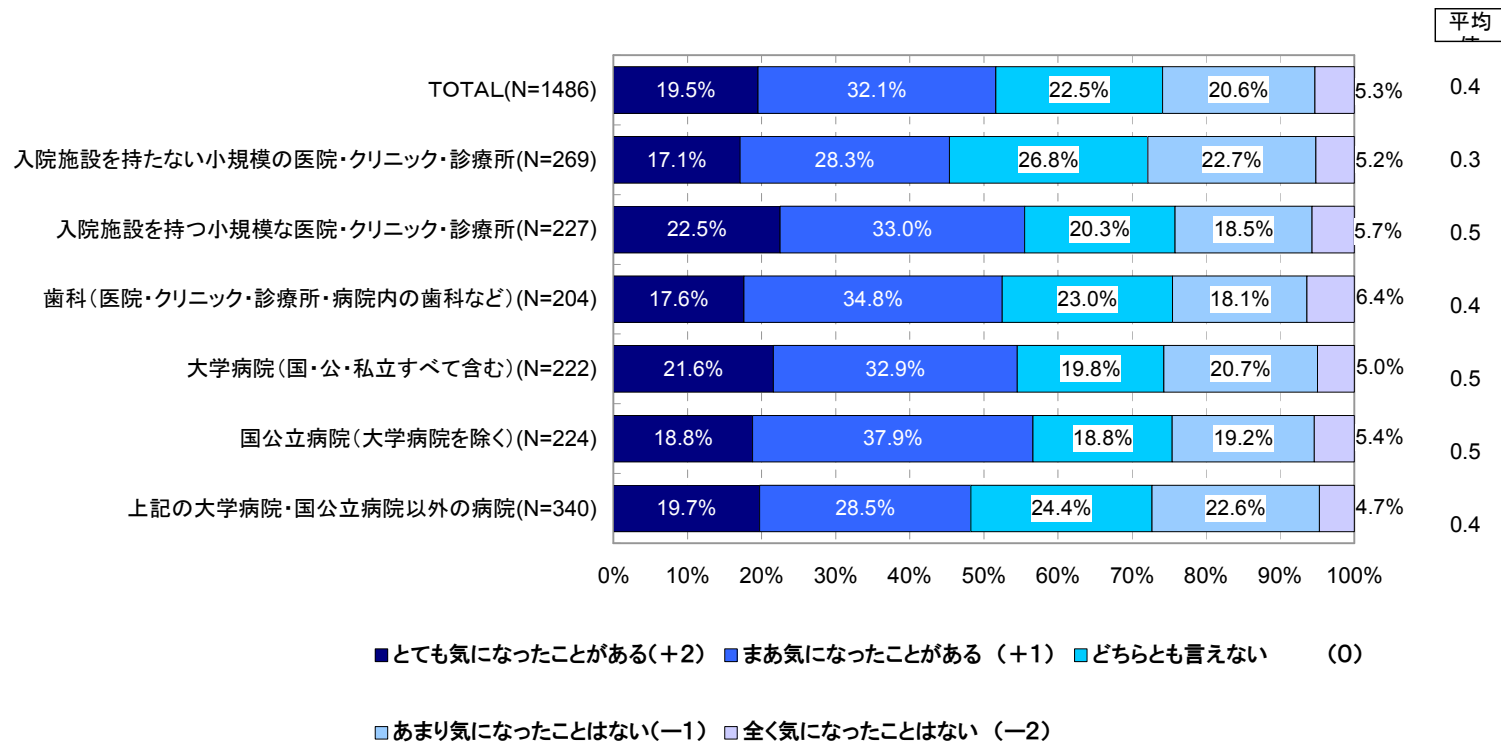
「水道の蛇口が自動水栓か」では「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」、「大学病院」、「国公立病院」、「大学/国公立病院以外の一般病院」で相対的に気にされている。

Q4③：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 水道の蛇口が自動水栓か  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



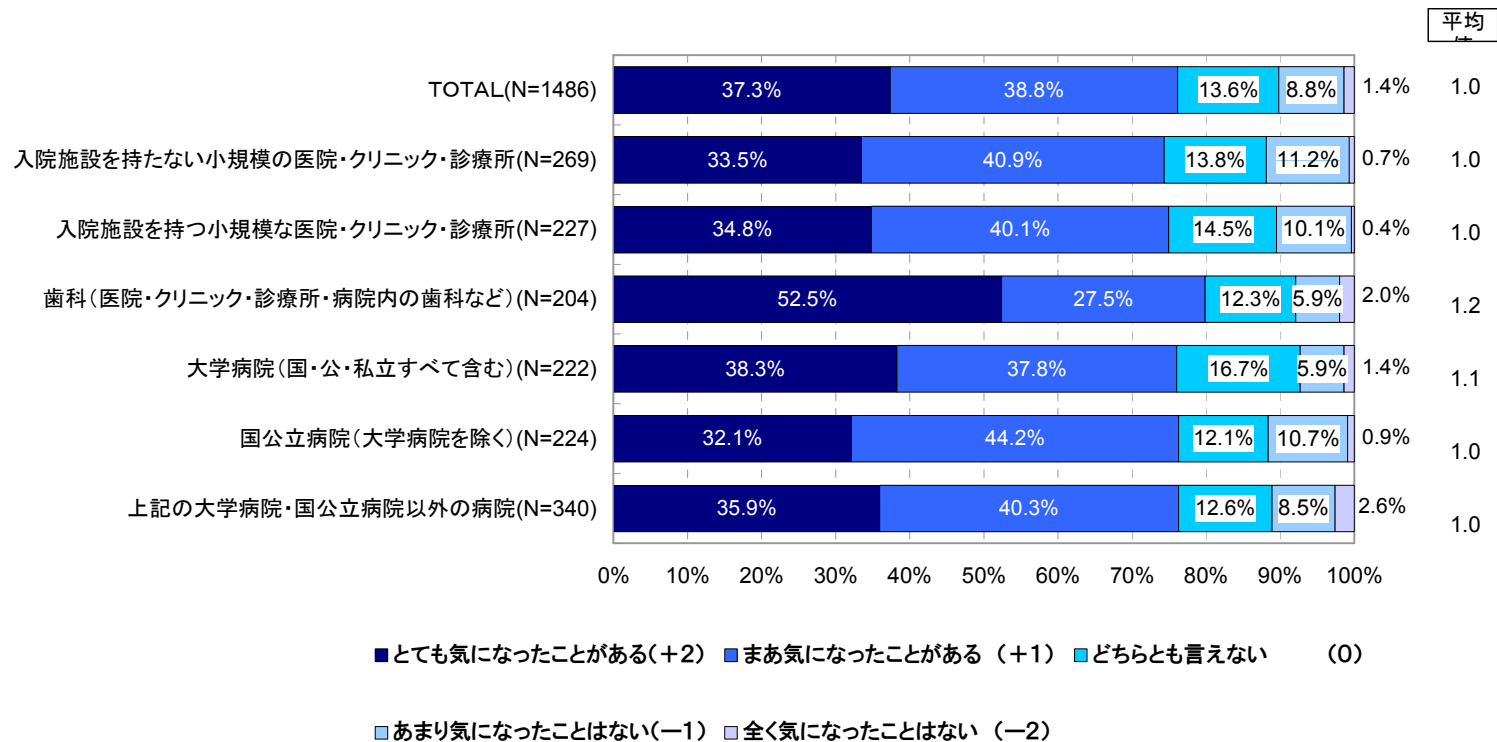
「トイレにペーパータオルが備えられているか」が「とても気になったことがある」ことが多いのは「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」、「大学病院」である。「気になったことがある経験合計」では先の2つに加えて「国公立病院」でもよく気にされている。

Q4④：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 トイレにペーパータオルが備えられているか  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



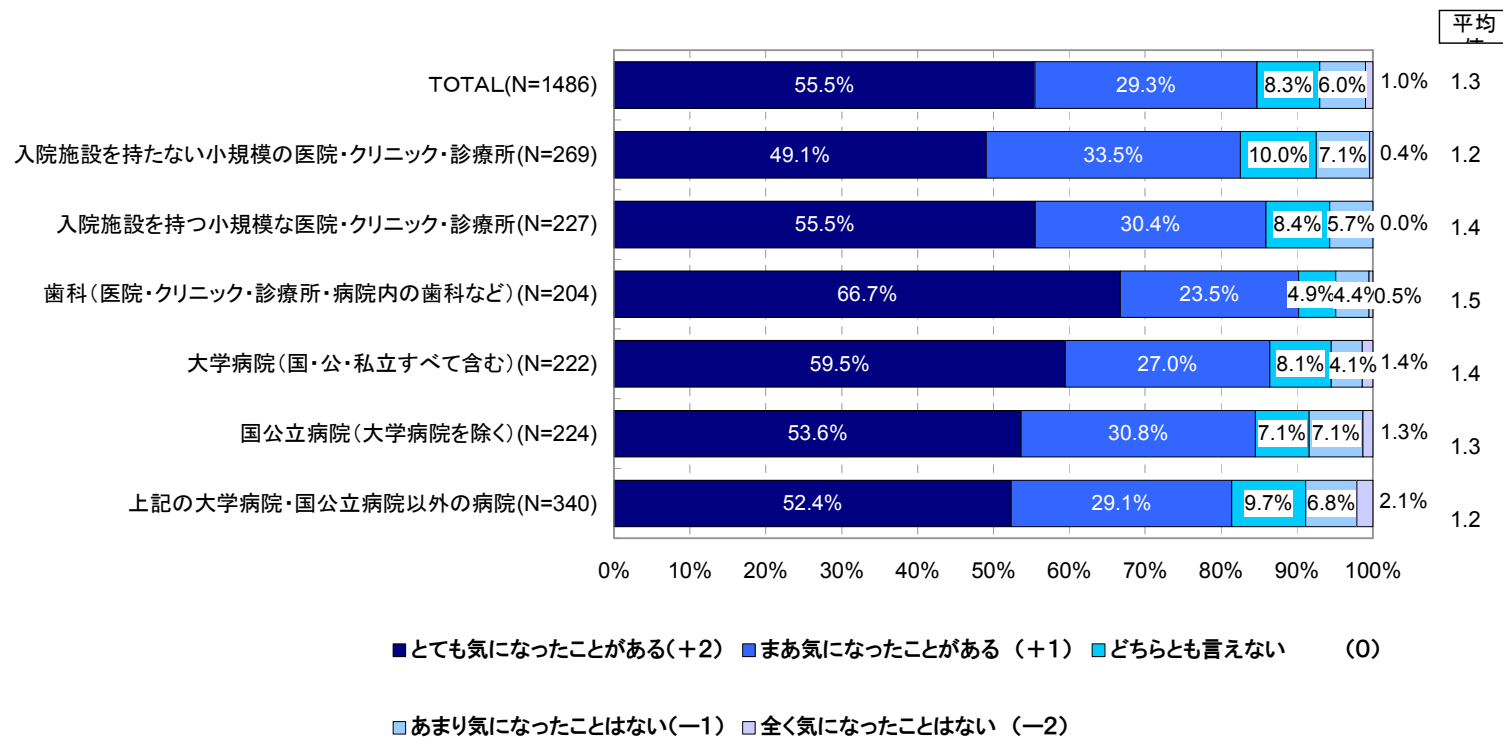
「診察の際に医師や看護師が手をよく洗っているか」では圧倒的に「歯科」で気になった経験が高い。  
直接医師や看護師の手が口腔内に触れるため関心が高いと見られる。

Q4⑤：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 診察の際に医師や看護師が手をよく洗っているか  
×Q2\_\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



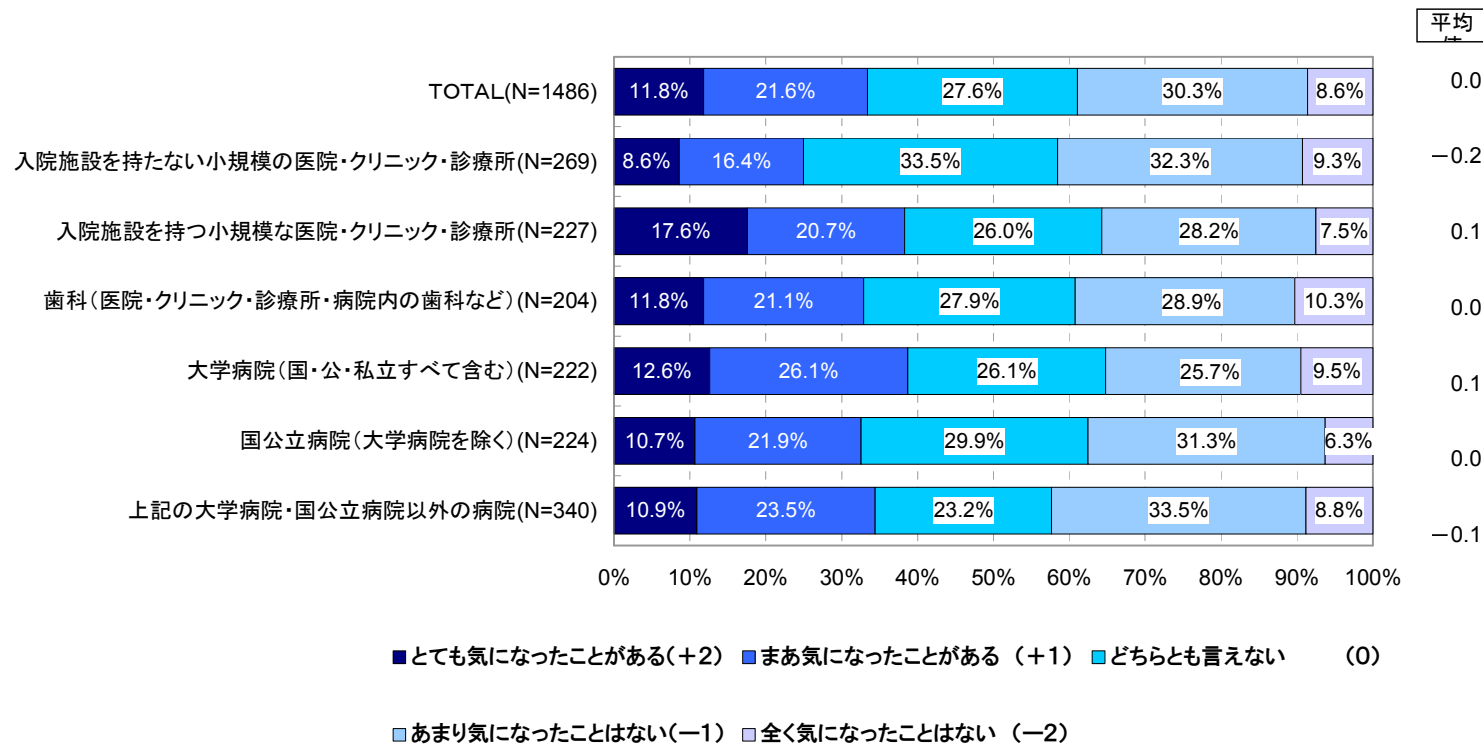
「患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用しているか」に関する「歯科」で気になった経験率が他より高い。約67%もの人が歯科で「とても気になったことがある」としている。

Q4⑥：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用しているか  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



「医師や看護師が使用する事務用品が抗菌仕様か」は全体的に気になった経験が他の項目ほど多くない。しかしその中でも「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」・「大学病院」は相対的に気になった経験率が高い。

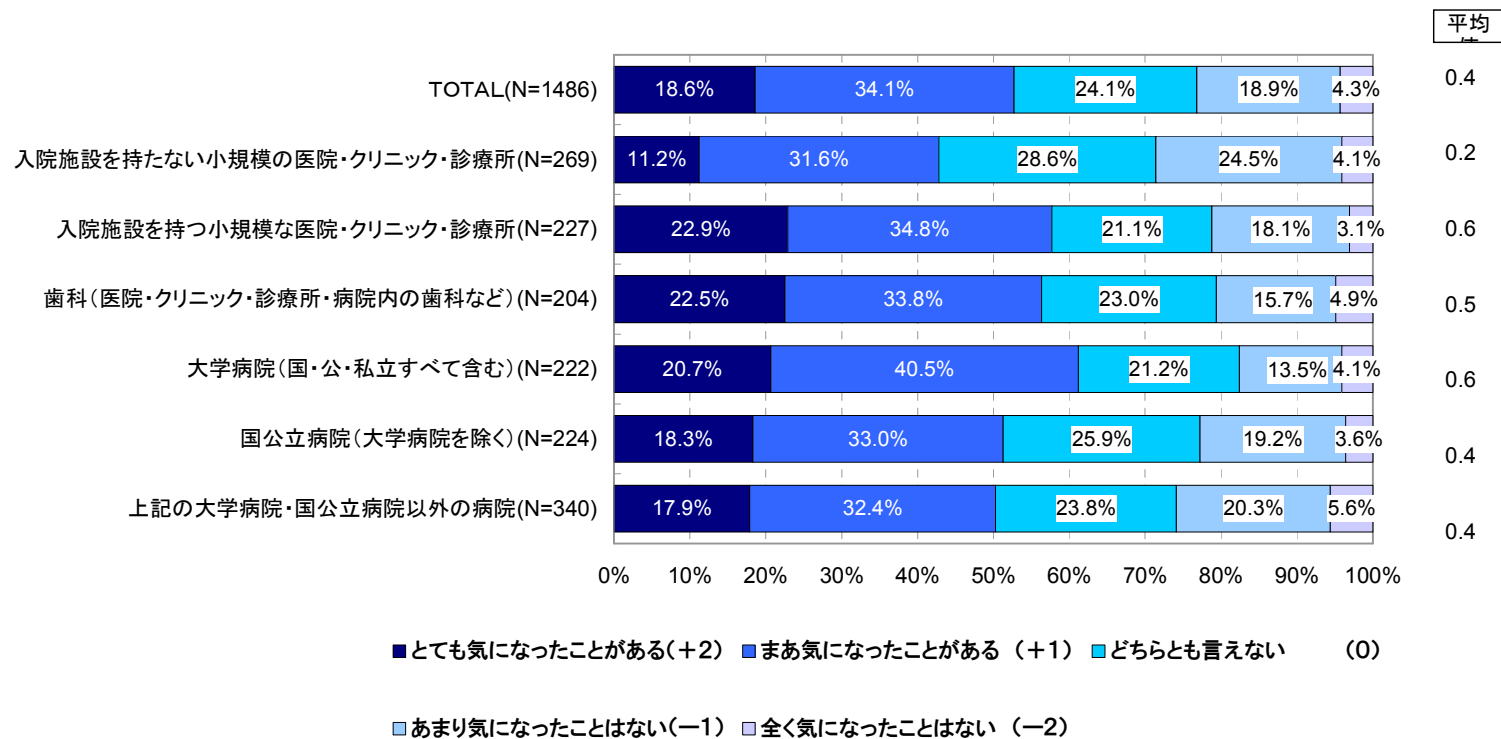
Q4⑦：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 医師や看護師が使用する事務用品が抗菌仕様か  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）





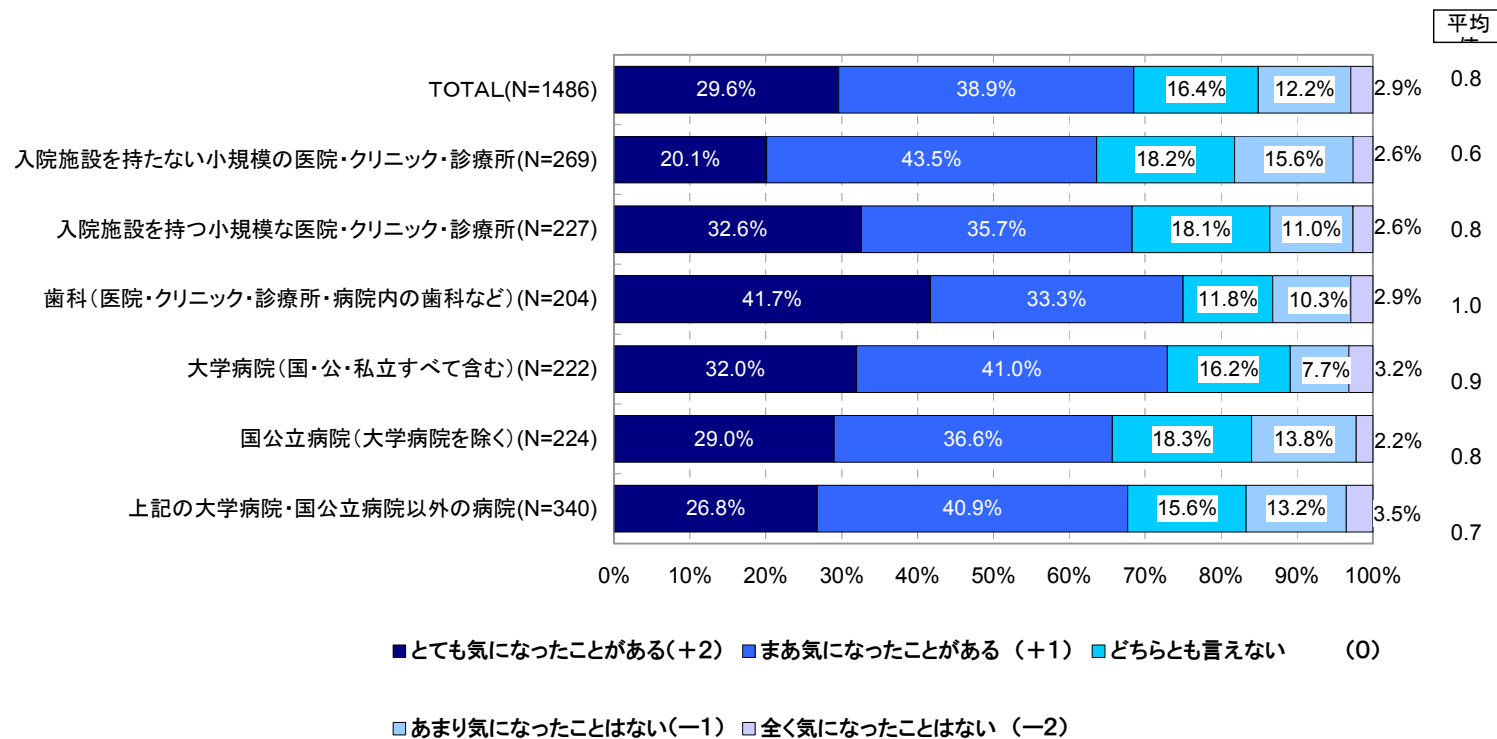
「医師や看護師が使い捨てタイプのマスクを装着しているか」については「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」と「大学病院」でやや気になった経験率が高い。

Q4⑧：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 医師や看護師が使い捨てタイプのマスクを装着しているか  
 × Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



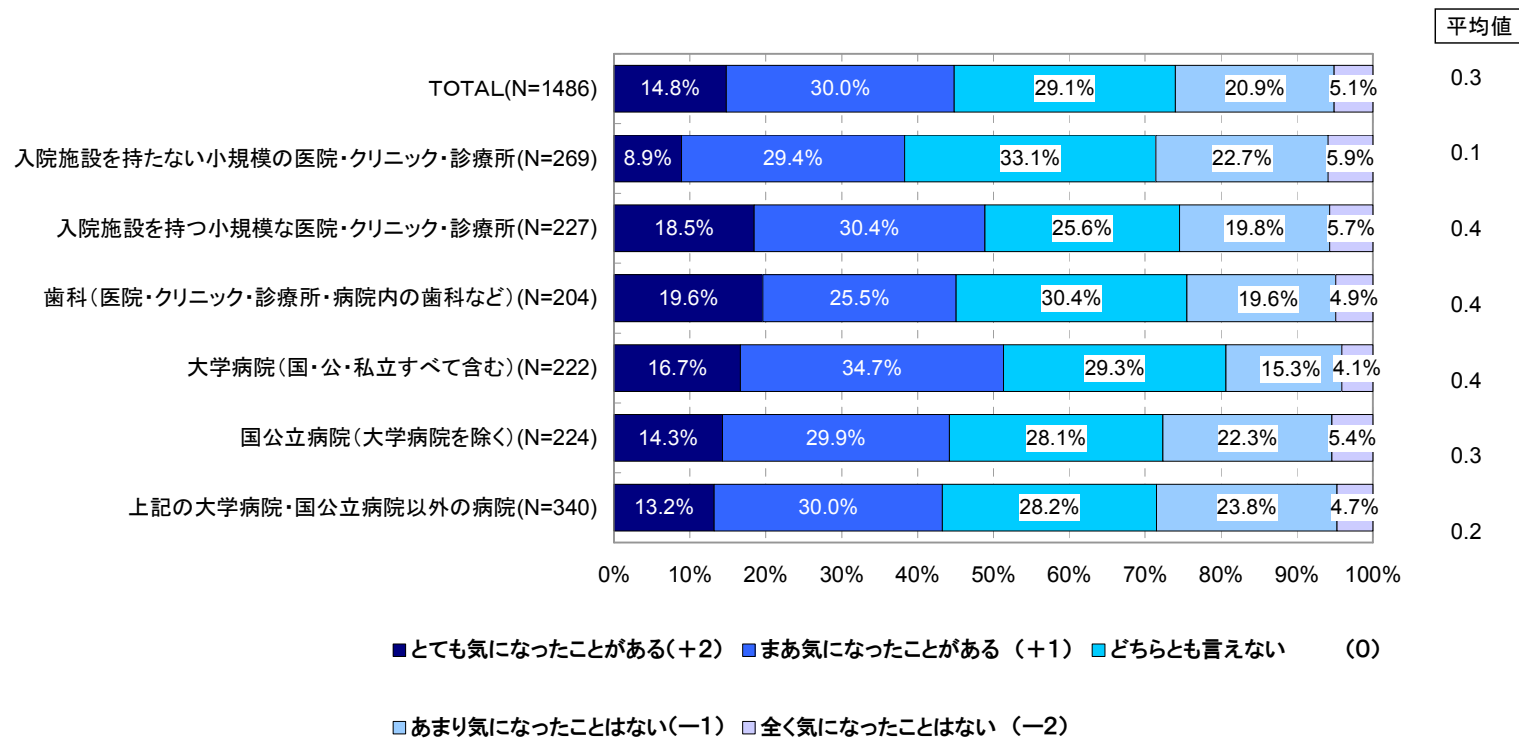
「医師や看護師が使い捨てタイプのゴム手袋を装着しているか」は先ほどの手洗いと同様に「歯科」で非常に気にされている。40%以上の方がゴム手袋の有無を「とても気になったことがある」としていることは要注目。

Q4⑨：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 医師や看護師が使い捨てタイプのゴム手袋を装着しているか  
 ×Q2\_\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



「医師や看護師が使い捨てタイプのエプロンを装着しているか」については「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」・「歯科」・「大学病院」でやや他より気にされている傾向がある。

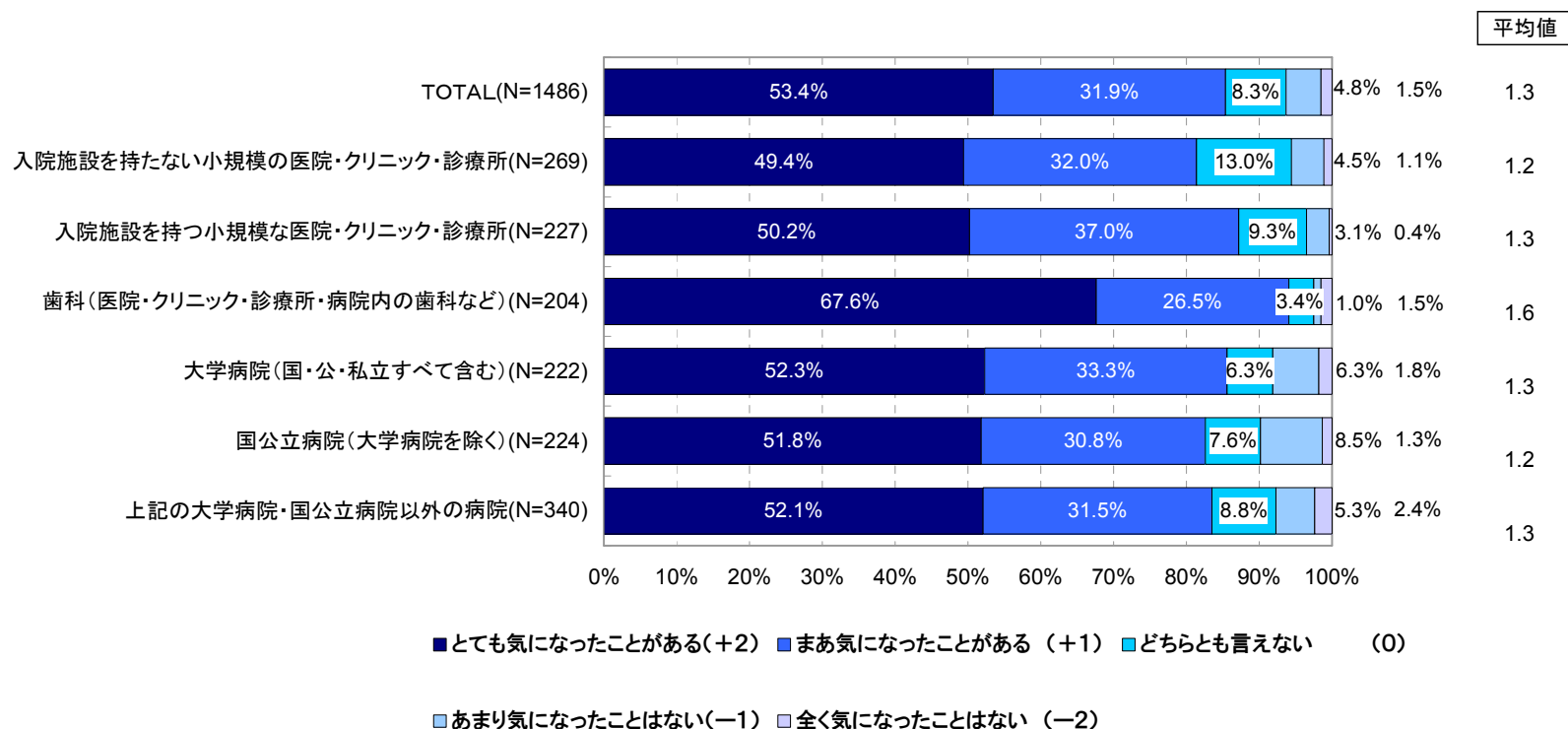
Q4⑩：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 医師や看護師が使い捨てタイプのエプロンを装着しているか  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



# Q4⑪\*Q2SQ1

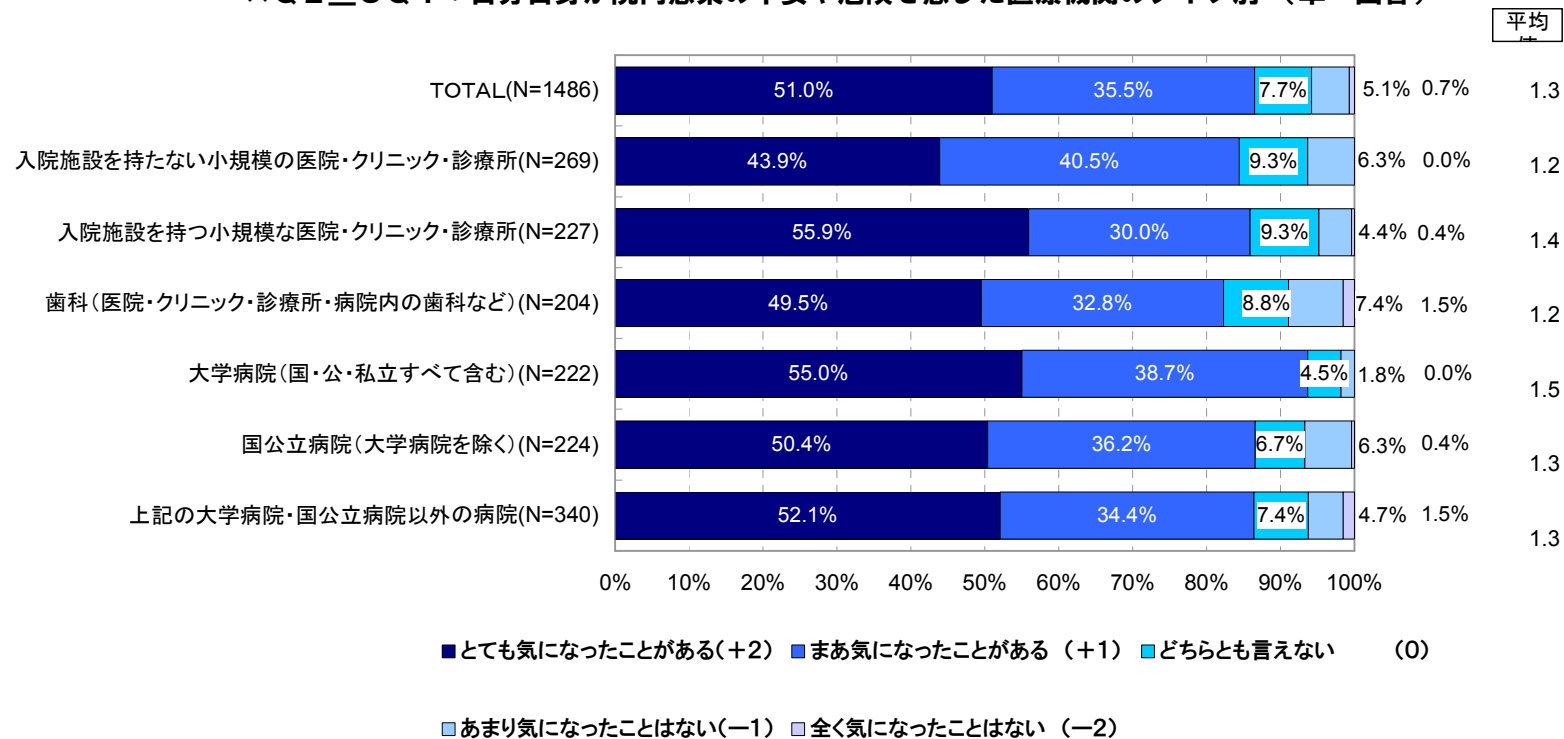
「ピンセットやメスなどの一般的な医療用具が適切に洗浄・消毒されているか」については「歯科」で圧倒的に気にされている。

Q4⑪：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 ピンセットやメスなどの一般的な医療用具が適切に洗浄・消毒されているか × Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



「診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態が適切か」については、「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」と「大学病院」で「とても気になったことがある」との回答が他より多く、特に大学病院は「まあ気になったことがある」も含めると約94%が気になった経験を持っている。

Q4⑫：医療行為や施設の設備から院内感染が気になった程度 診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態が適切か  
 ×Q2\_\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



# Q5.院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度

「水道の蛇口を自動水栓にする」ことに関しては医療機関タイプ別に大きな特徴はなく、いずれも約45%の人が「とても期待する」、約8割の人が「まあ期待する」も含めた期待者層である。

Q5①：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度  
× Q1院内感染の認知別 平均スコア

	待合室内を含め、院内の空気を清浄化する	水道の蛇口を自動水栓にする	トイレにペーパータオルを備える	診療の際に医師や看護師が、患者毎に手をよく洗う	患者毎に使い捨てタイプの医療用品を使用する	医師や看護師が使用する事務用品を抗菌に替える	医師や看護師が使い捨てタイプのマスクを着用する	医師や看護師が着用するマスクを患者毎に交換する	医師や看護師が使い捨てタイプのゴム手袋を着用する	医師や看護師が着用する手袋を患者毎に交換する	医師や看護師が着用するエプロンを装着する	医師や看護師が着用するエプロンを患者毎に交換する	ピンセットやメスの一般的な用具を適切に洗浄・消毒する	医師や看護師が触れる医療機器のボタンやスイッチ類の表面を患者毎に消毒する	内視鏡等使用される特殊な医療器具を洗浄・消毒する	診察台や入院ベッドのシーツ・マットレスの衛生状態を適切に保つ	院内感染対策に積極的に取り組んでいることをホームページなどで告知する	院内感染による感染率を広く公表する
TOTAL	1.4	1.1	1.0	1.5	1.6	0.7	1.1	0.8	1.3	1.1	0.8	0.6	1.8	0.8	1.8	1.6	1.2	1.5
今初めて聞いた	0.7	0.6	0.6	1.3	0.9	0.6	1.1	1.0	1.1	1.1	0.8	0.7	1.4	0.9	1.1	1.3	0.9	0.9
聞いたことはあったが意味は知らない	1.2	0.8	0.8	1.5	1.4	0.6	0.9	0.7	1.0	1.0	0.7	0.6	1.7	0.7	1.7	1.6	1.1	1.3
意味は知っているが報道や記事を見聞きしたことはない	1.3	0.9	0.9	1.5	1.5	0.8	1.1	0.8	1.2	1.2	0.9	0.7	1.7	0.9	1.7	1.6	1.1	1.4
具体的な報道や記事を見聞きしたことがある	1.4	1.1	1.0	1.5	1.6	0.6	1.1	0.8	1.3	1.1	0.7	0.6	1.8	0.8	1.8	1.6	1.2	1.5
自分自身または家族・知人がかかった人がいる	1.4	1.2	1.0	1.6	1.6	0.7	1.3	0.8	1.4	1.3	0.8	0.6	1.9	0.8	1.8	1.7	1.3	1.5

# Q5 \* Q2SQ1

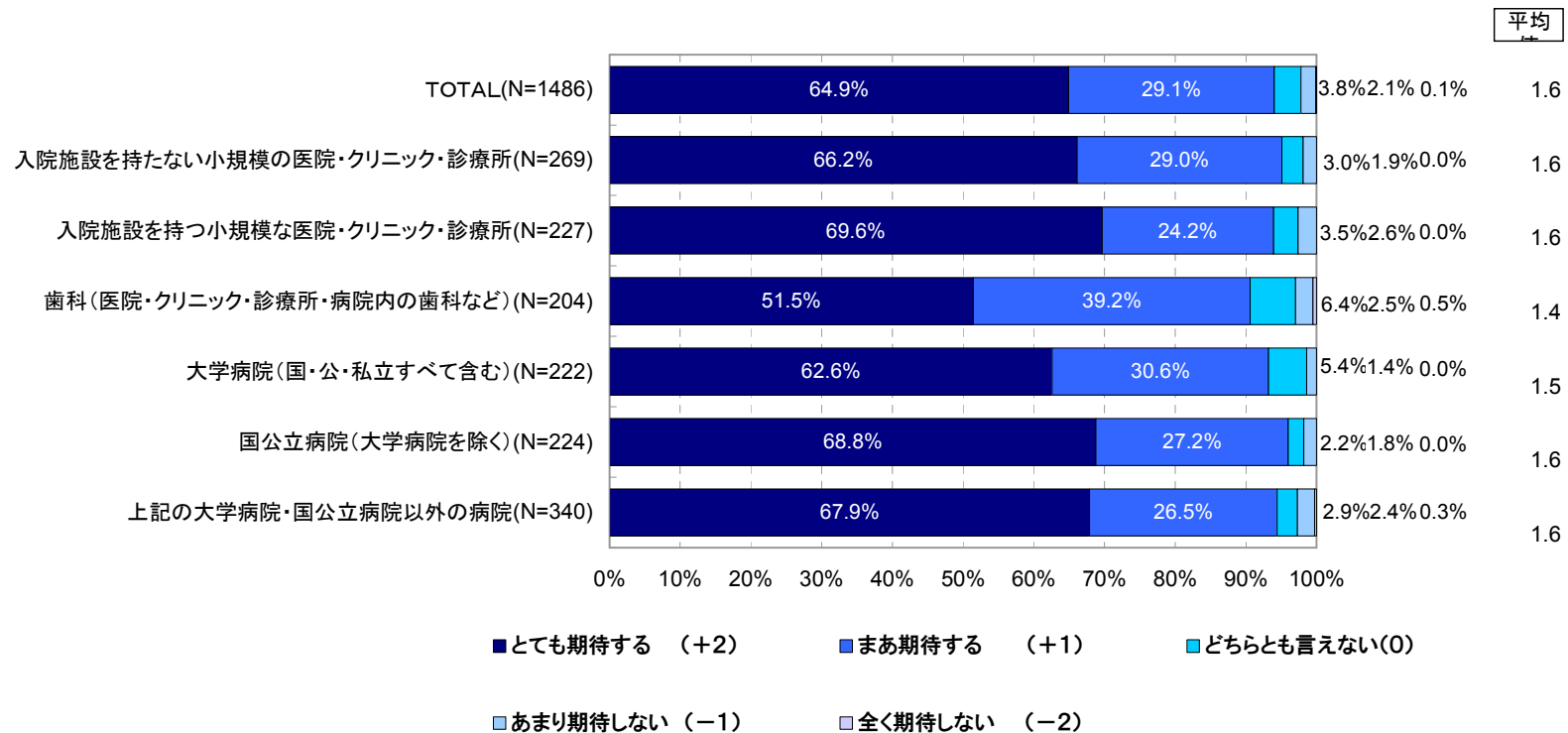
院内感染の不安を感じた医療機関のタイプ別に医療機関の院内感染防止への取り組みを期待する程度平均スコアが全体平均よりも高い項目に色をつけた。これはつまり各医療機関において今後取り組みがより期待されている項目と考えられる。

Q5：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度  
× Q2\_S Q1 自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別 平均スコア

	待合室内を含め、院内の空気を清浄化する	水道の蛇口を自動水栓にする	トイレにペーパータオルを備える	診療の際に医師や看護師が患者毎に手をよく洗う	患者毎に使い捨てタイプの医療用品を使用する	医師や看護師が使用する事務用品を抗生菌に替える	医師や看護師が使い捨てタイプのマスクを着用する	医師や看護師が着用するマスクを患者毎に交換する	医師や看護師が使い捨てタイプのゴム手袋を着用する	医師や看護師が着用する使い捨てタイプの患者毎に交換する	医師や看護師が着用する使い捨てタイプのエプロンを装着する	医師や看護師が着用する使い捨てエプロンを患者毎に交換する	ピンセットやメスなどの一般的な医療用具を適切に洗浄・消毒する	医師や看護師が触れる機器のボタンやスイッチ類の表面を患者毎に消毒する	内視鏡等再使用される特殊な医療器具を洗浄・消毒する	診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態を適切に保つ	院内感染対策に積極的に取り組んでいることをホームページなどで告知する	院内感染による感染率を広く公表する
TOTAL	1.6	1.2	1.1	1.7	1.7	0.8	1.2	0.9	1.4	1.3	0.8	0.7	1.9	1.0	1.9	1.7	1.3	1.6
入院施設を持たない小規模の医院・クリニック・診療所	1.6	1.2	1.1	1.7	1.6	0.6	1.1	0.7	1.2	1.0	0.7	0.5	1.9	0.8	1.9	1.7	1.2	1.5
入院施設を持つ小規模な医院・クリニック・診療所	1.6	1.2	1.2	1.7	1.7	0.9	1.3	1.0	1.4	1.4	0.9	0.9	1.9	1.1	1.9	1.7	1.4	1.7
歯科(医院・クリニック・診療所・病院内の歯科など)	1.4	1.2	1.0	1.7	1.8	0.8	1.3	0.9	1.5	1.5	0.9	0.7	1.9	1.0	1.9	1.7	1.3	1.6
大学病院(国・公・私立すべて含む)	1.5	1.3	1.1	1.6	1.7	0.8	1.3	1.0	1.4	1.3	0.9	0.9	1.8	1.0	1.9	1.7	1.3	1.5
国公立病院(大学病院を除く)	1.6	1.2	1.1	1.7	1.6	0.8	1.2	0.8	1.4	1.3	0.9	0.8	1.8	0.9	1.8	1.7	1.3	1.6
上記の大学病院・国公立病院以外の病院	1.6	1.3	1.1	1.7	1.7	0.7	1.2	0.8	1.4	1.3	0.8	0.7	1.9	1.0	1.9	1.8	1.4	1.6

「待合室内を含め、院内の空気を清浄化する」ことへの期待は歯科を除きすべての医療機関タイプに対し6割から7割の人が「とても期待する」としており期待値が高い項目である。

Q5①：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 待合室内を含め、院内の空気を清浄化する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）

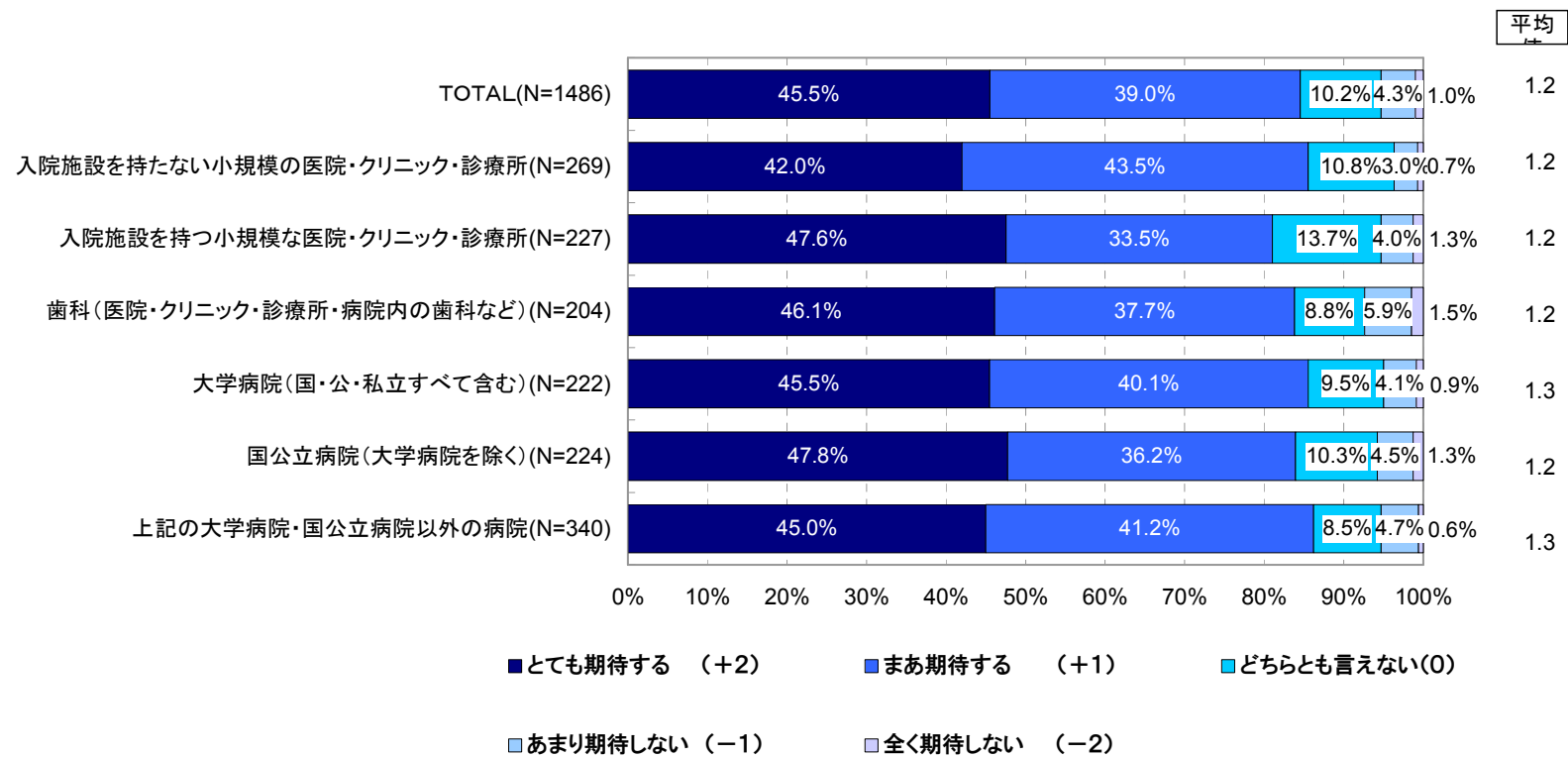




# Q5②\*Q2SQ1

「水道の蛇口を自動水栓にする」ことに関しては医療機関タイプ別に大きな特徴はなく、いずれも約45%の人が「とても期待する」、約8割の人が「まあ期待する」も含めた期待者層である。

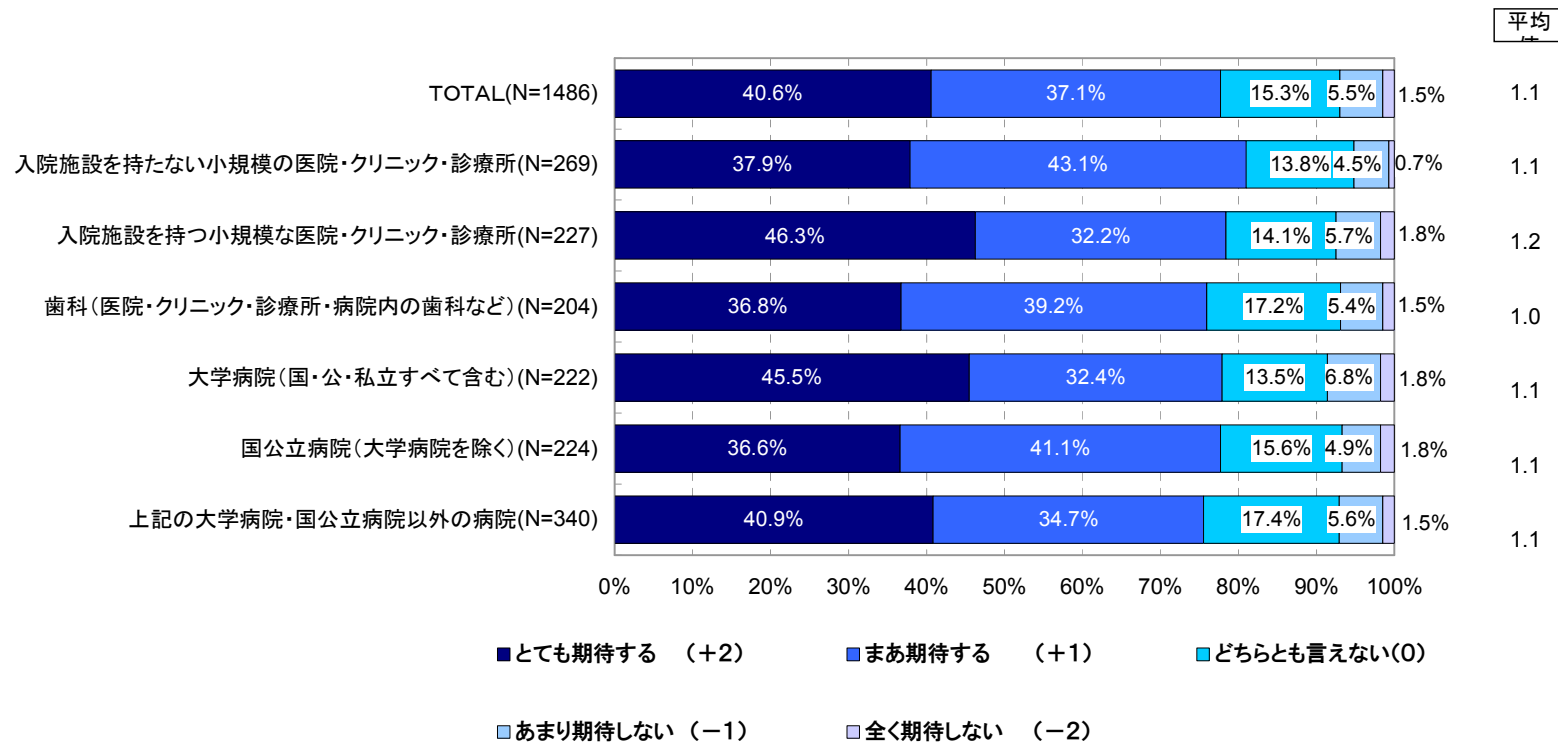
Q5②：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 水道の蛇口を自動水栓にする  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



# Q5③\*Q2SQ1

「トイレにペーパータオルを備える」は「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」および「大学病院」で「とても期待する」率が他よりも目立って高い。ただし「まあ期待する」までを含めるといづれの医療機関もさほど大きな差はない。

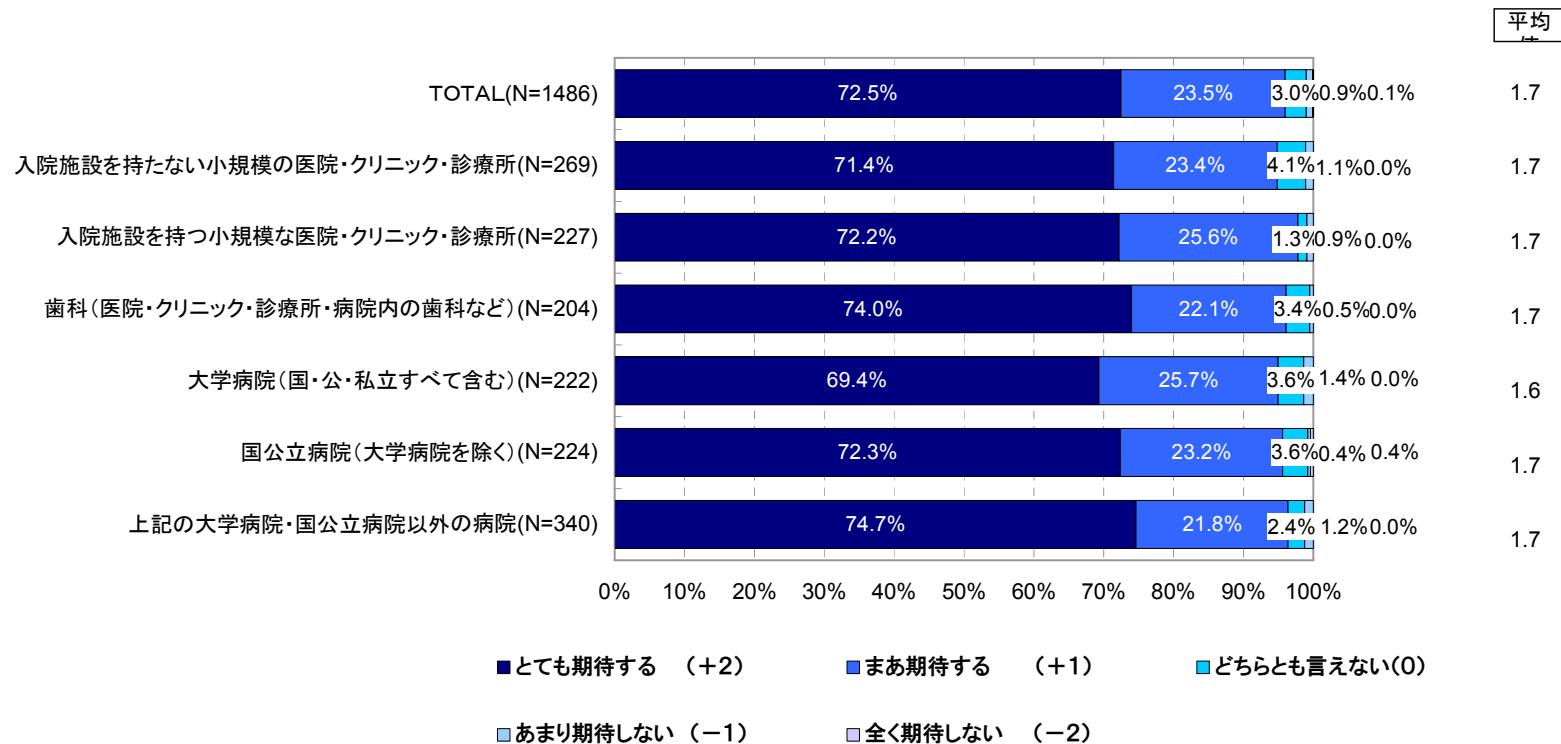
Q5③：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 トイレにペーパータオルを備える  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



# Q5④\*Q2SQ1

「診察の際に医師や看護師が患者毎に手をよく洗う」については、いずれの医療機関タイプでもおおよそ70%の人が「とても期待する」、「まあ期待している」も合わせるといずれの医療機関タイプでもおおよそ95%となり、期待値が非常に高い項目である。

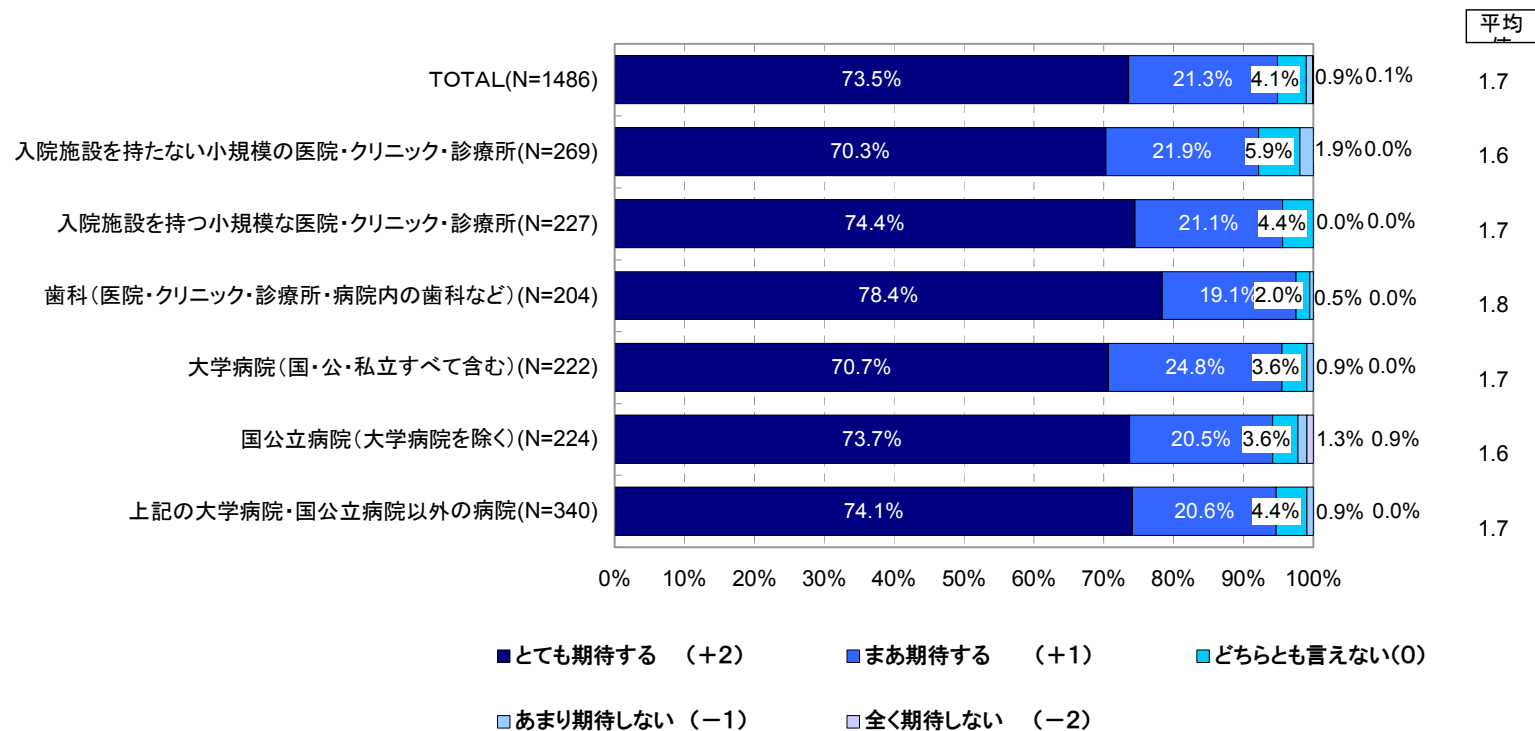
Q5④：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 診察の際に医師や看護師が、患者毎に手をよく洗う  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



# Q5⑤\*Q2SQ1

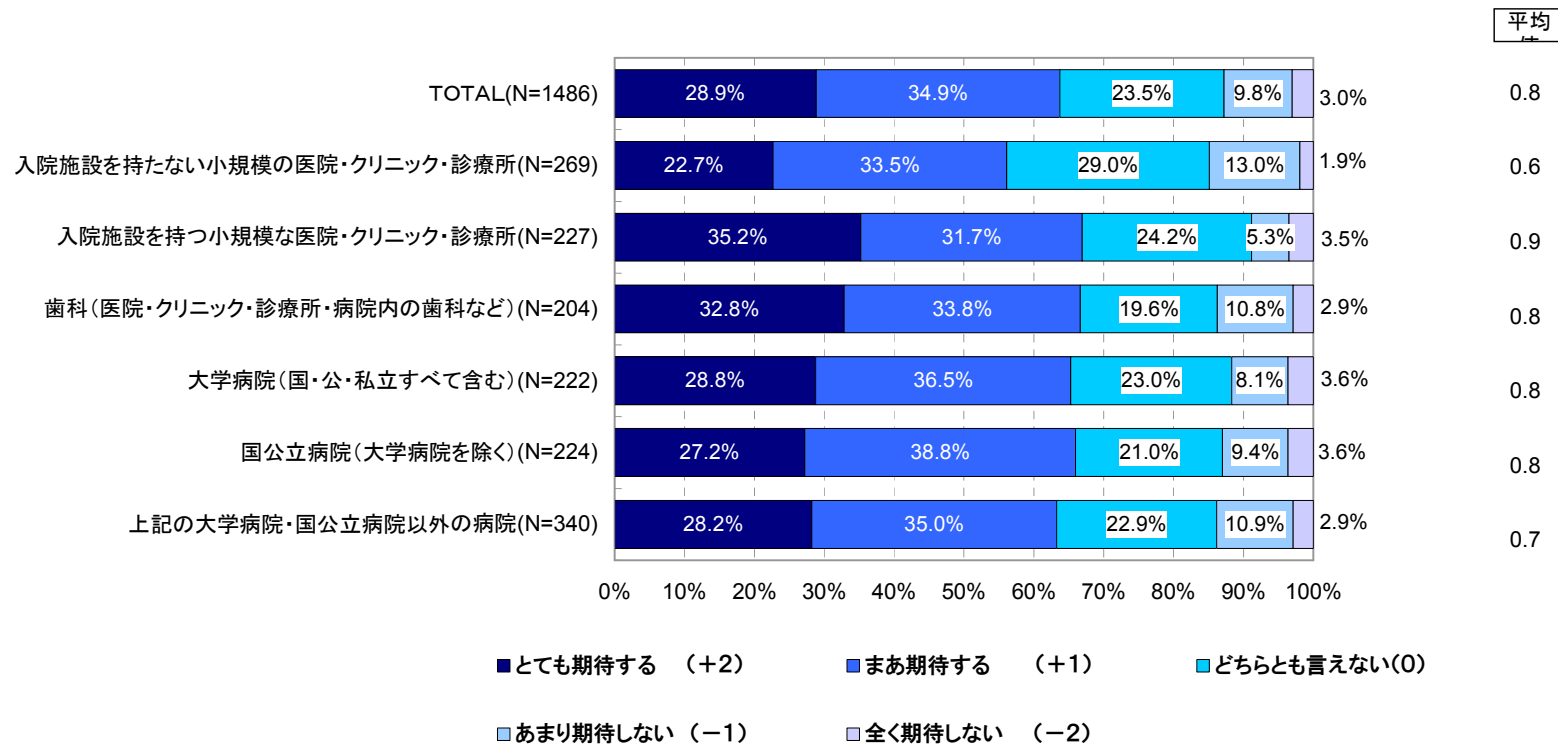
「患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用する」ことは「歯科」で最も強く期待されており8割弱の人が「とても期待する」としている。

Q5⑤：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



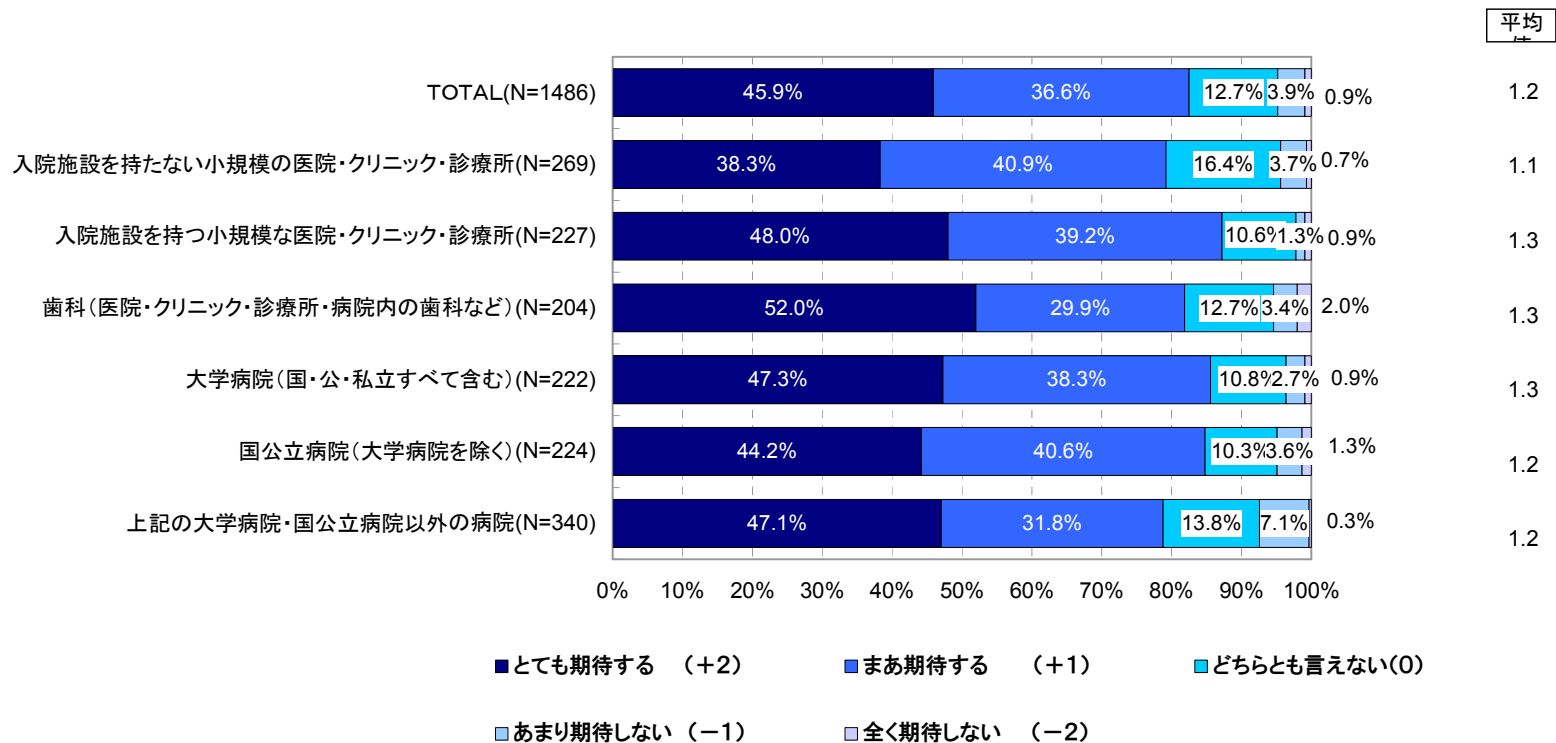
「医師や看護師が使用する事務用品を抗菌仕様に替える」に対して「とても期待する」が多かったのは「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」や「歯科」である。ただし「まあ期待する」も含めると「入院施設を持たない小規模の医院/クリニック/診療所」を除き他の医療機関はほぼ同程度の期待度となる。

Q5⑥：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 医師や看護師が使用する事務用品を抗菌仕様に替える  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



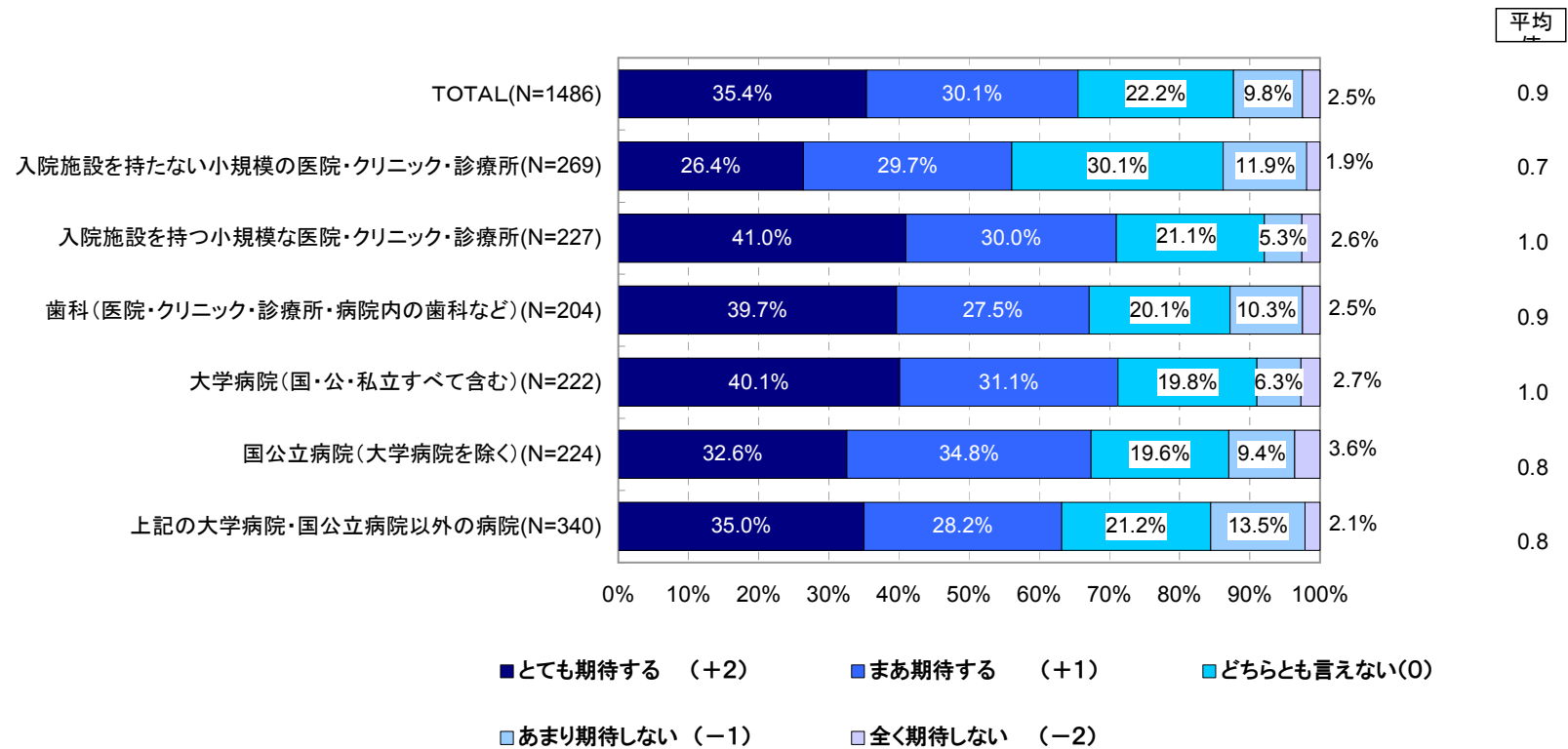
「医師や看護師が使い捨てタイプのマスクを装着する」に対して「とても期待する」という強い期待は「歯科」で最も高い。だが「まあ期待する」も含めた期待合計では「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」や「大学病院」・「国公立病院」が上回る。

Q5⑦：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 医師や看護師が使い捨てタイプのマスクを装着する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



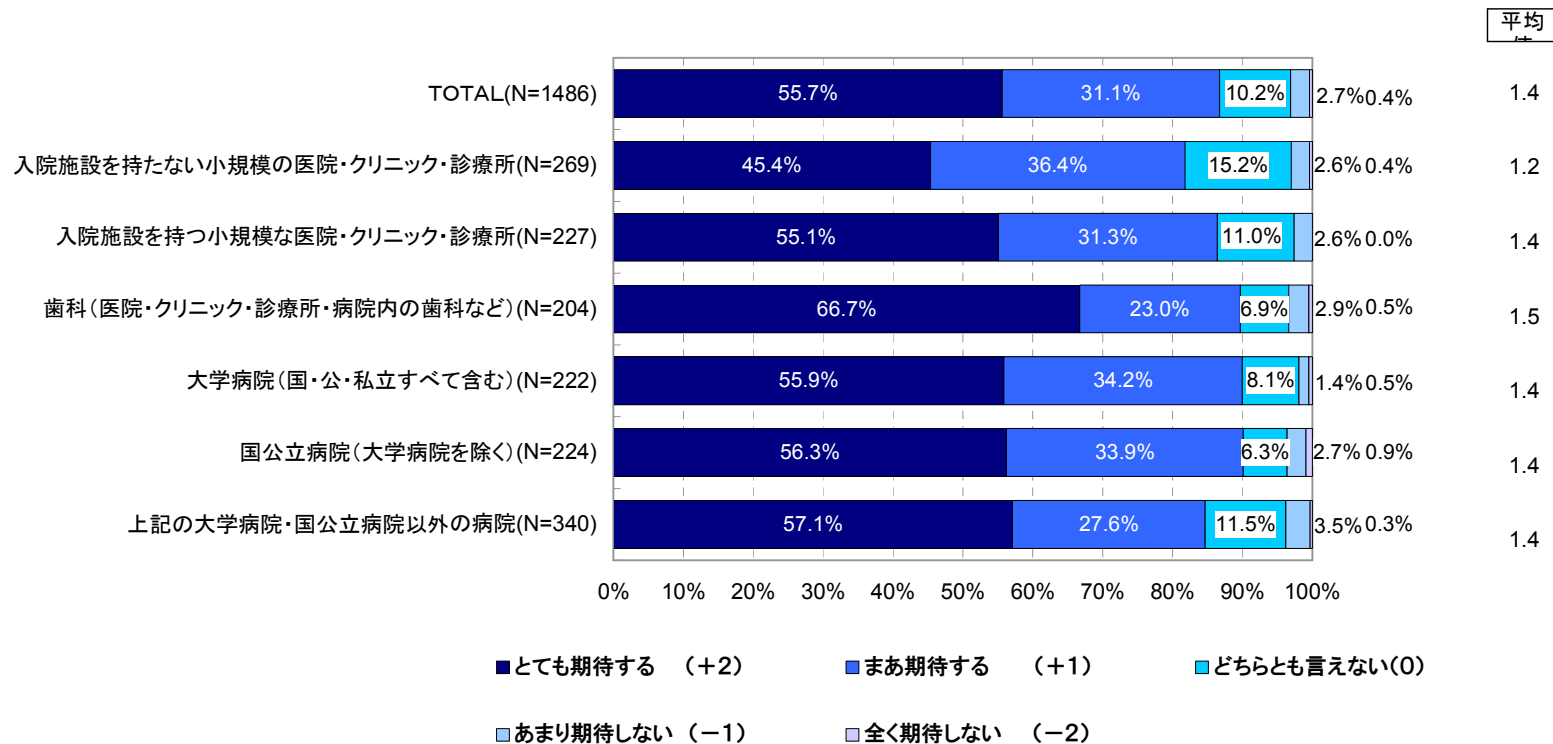
「医師や看護師が装着する使い捨てマスクを患者毎に交換する」は「入院施設を持つ小規模の医院/クリニック/診療所」・「歯科」・「大学病院」で「とても期待する」が高く期待されている。

Q5⑧：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 医師や看護師が装着する使い捨てマスクを患者毎に交換する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



「医師や看護師が使い捨てタイプのゴム手袋を装着する」に対しては「歯科」で期待値が大きい。歯科で院内感染の不安を感じた人の約67%が「とても期待する」としている。

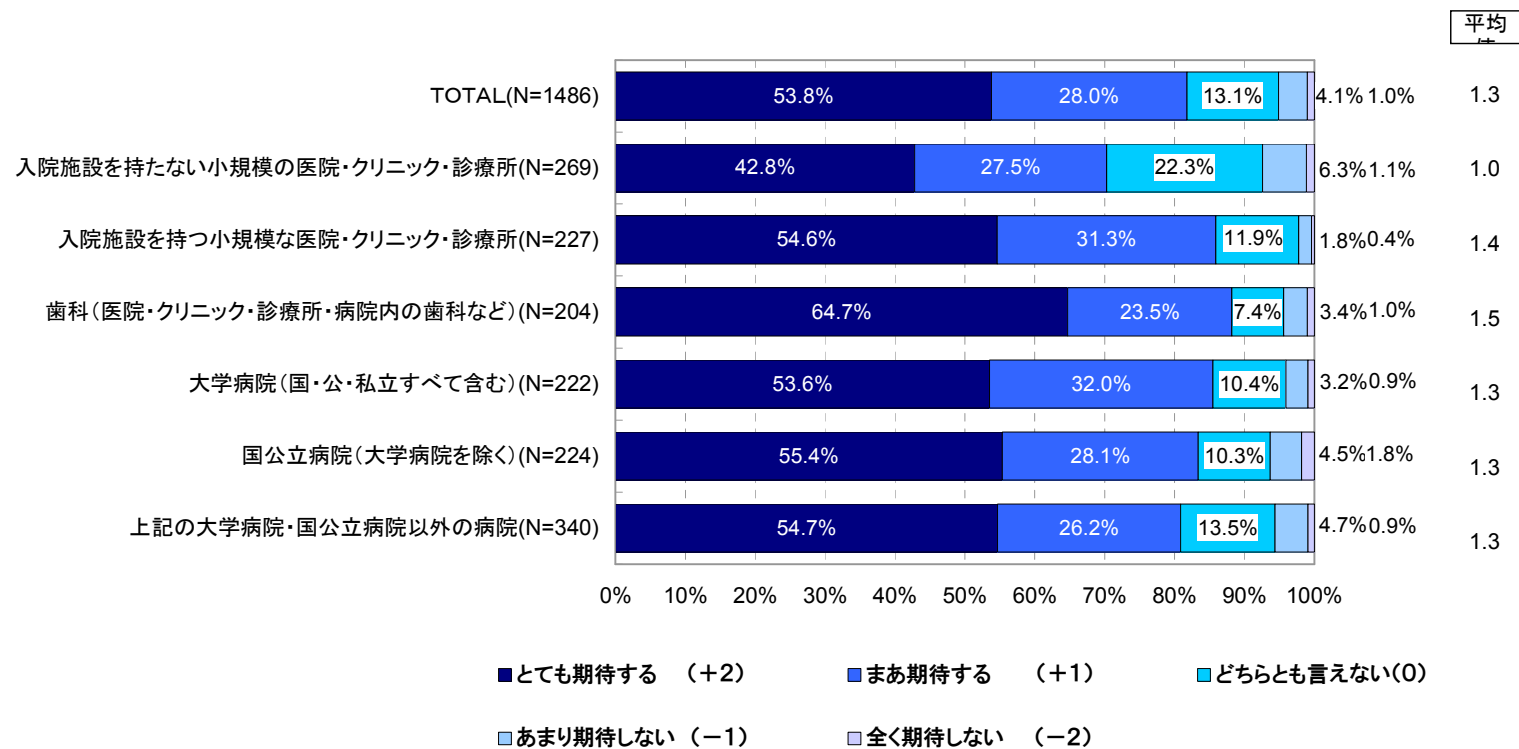
Q5⑨：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 医師や看護師が使い捨てタイプのゴム手袋を装着する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）





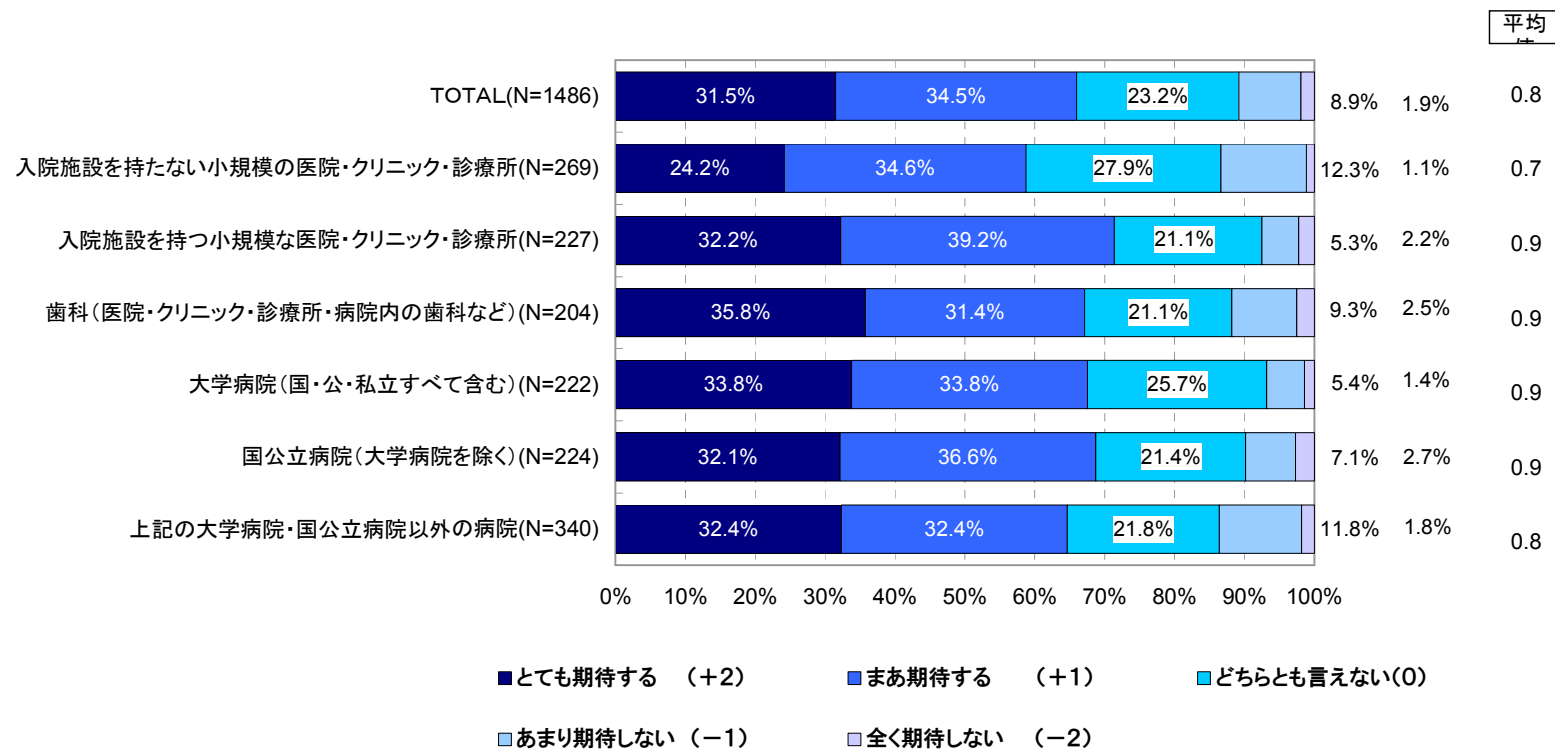
「医師や看護師が装着する使い捨てゴム手袋を患者毎に交換する」に対して「歯科」で期待値が高い。

Q5⑩：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 医師や看護師が装着する使い捨てゴム手袋を患者毎に交換する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



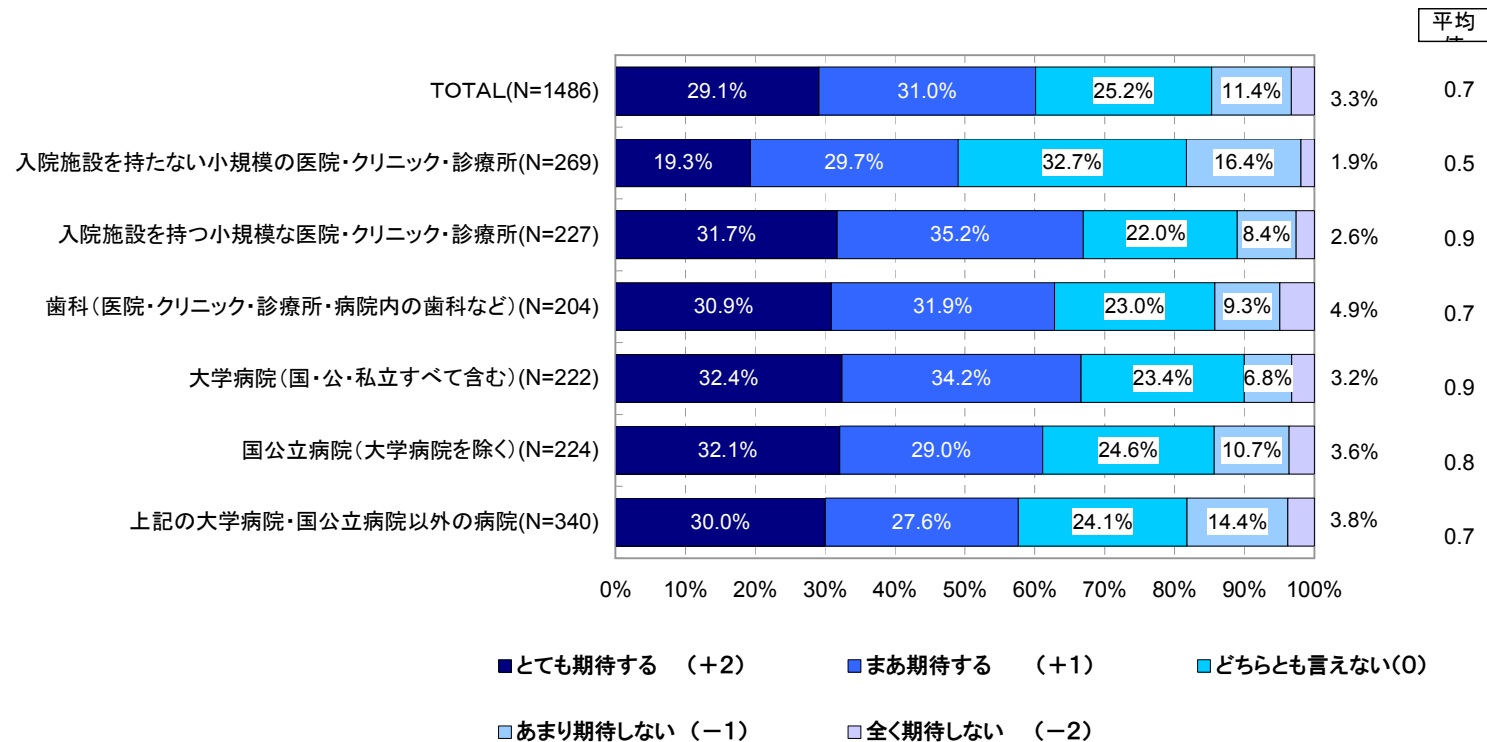
「医師や看護師が使い捨てタイプのエプロンを装着する」はゴム手袋に比べると期待値が全体に低い。

Q5⑪：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 医師や看護師が使い捨てタイプのエプロンを装着する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



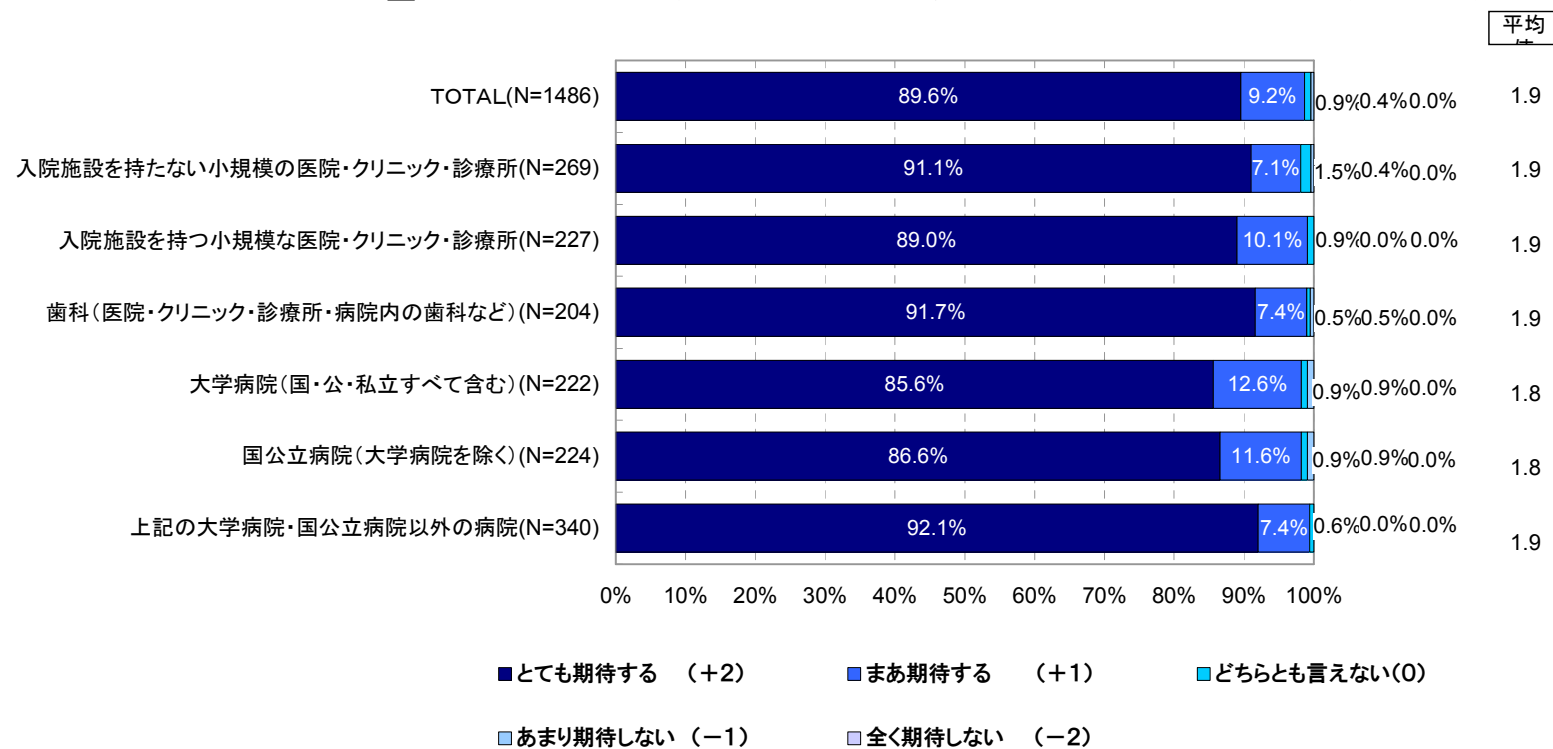
「医師や看護師が装着する使い捨てエプロンを患者毎に交換する」に対しては「入院施設を持つ小規模な医院/クリニック/診療所」と「大学病院」でやや他より期待値が高い。

Q5⑫：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 医師や看護師が装着する使い捨てエプロンを患者毎に交換する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



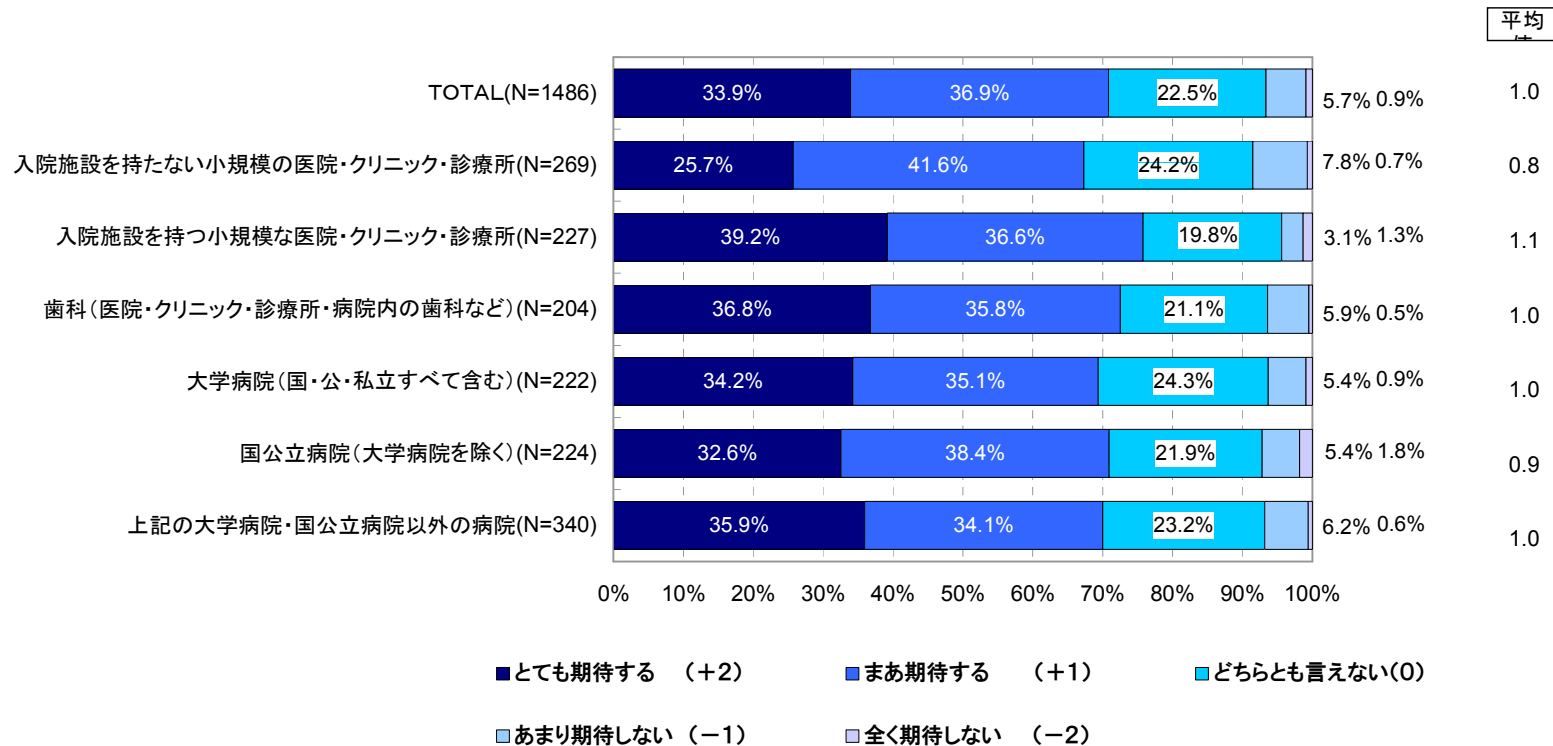
「ピンセットやメスなどの一般的な医療用具を適切に洗浄・消毒する」はいずれの層でも9割前後の人が期待しており期待値が非常に高い項目である。

Q5⑬：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 ピンセットやメスなどの一般的な医療用具を適切に洗浄・消毒する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



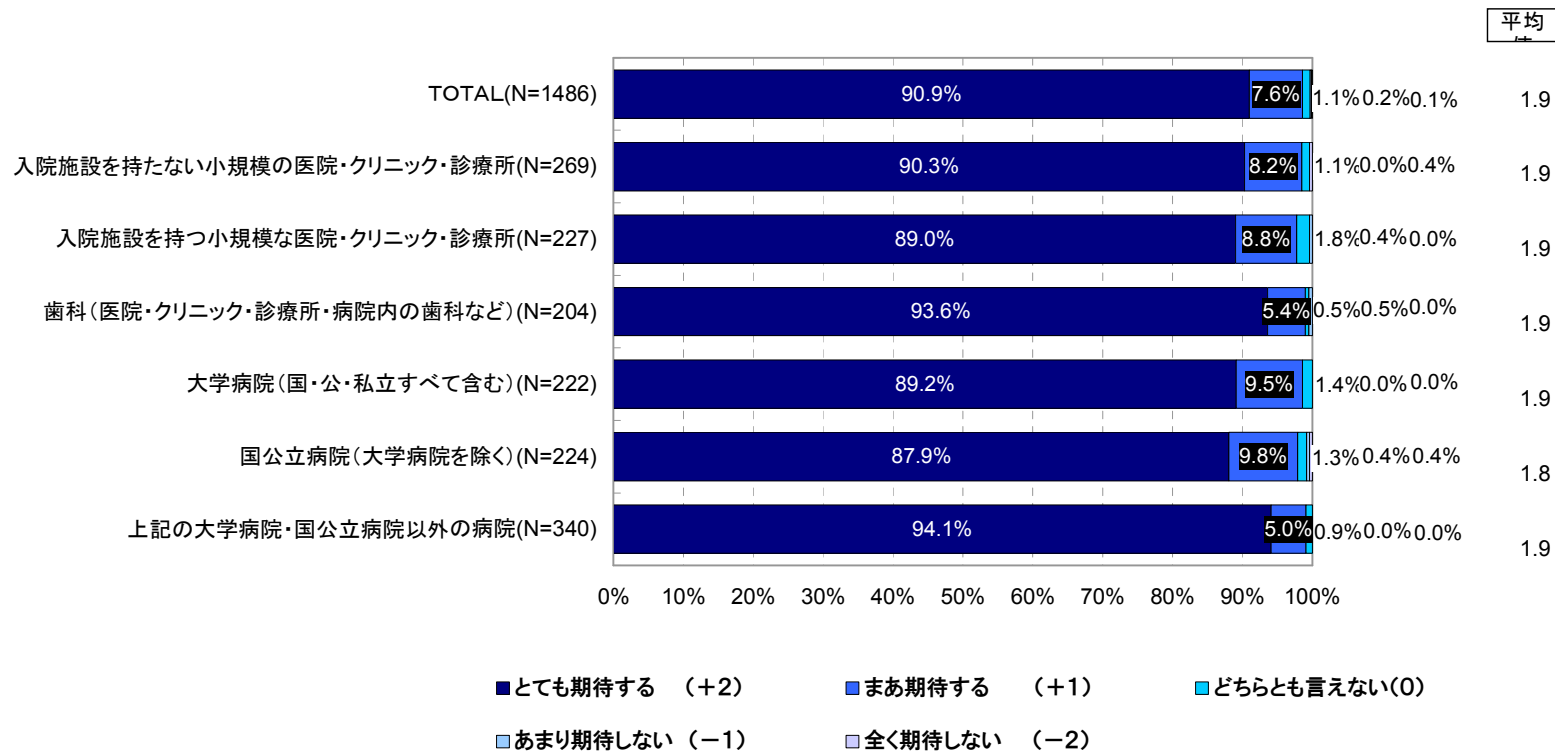
「医師や看護師が触れる医療機器のボタンやスイッチ類の表面を患者毎に消毒する」については、「入院施設を持つ小規模な医院/クリニック/診療所」で最も高い。

Q5⑭：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 医師や看護師が触れる医療機器のボタンやスイッチ類の表面を患者毎に消毒する × Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



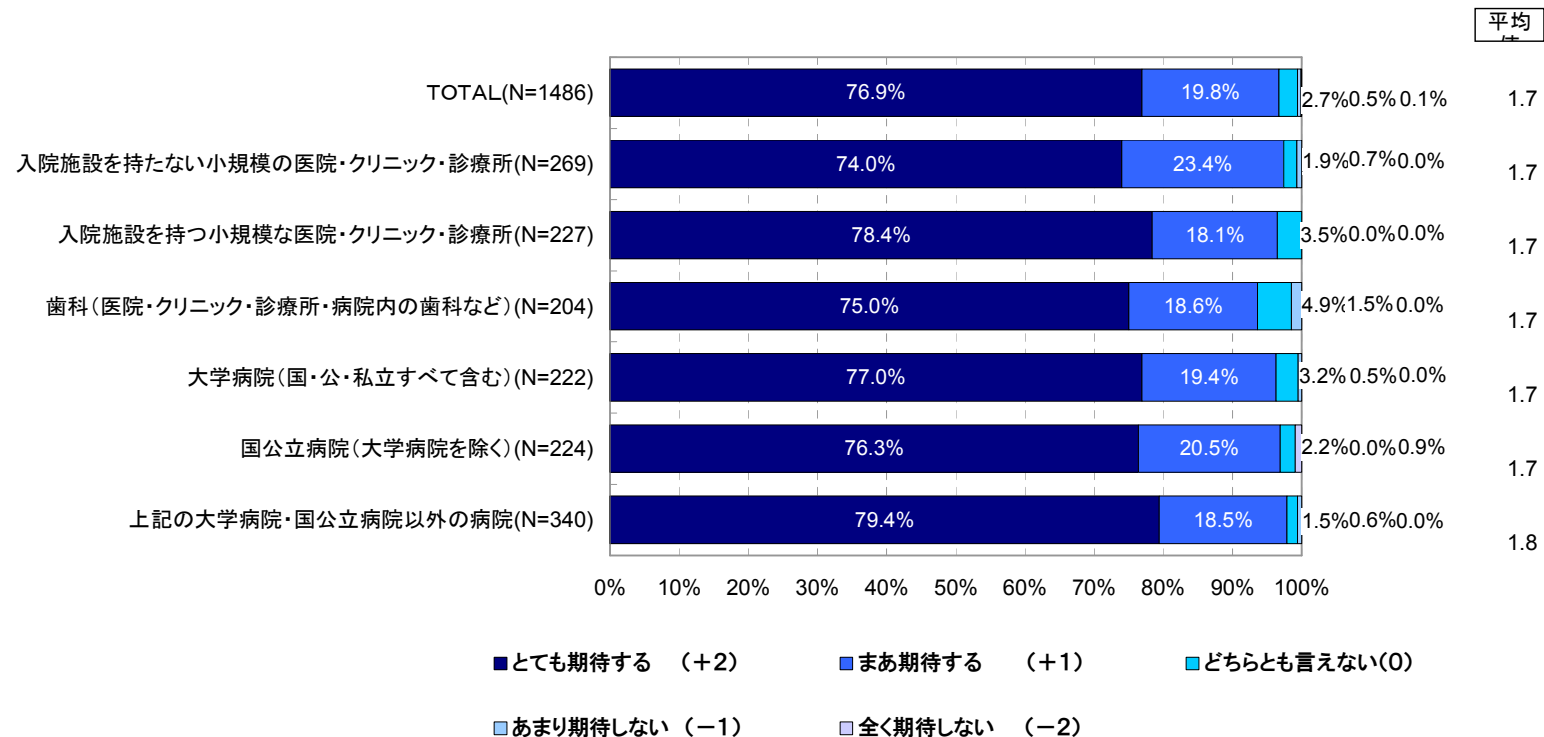
「内視鏡等再使用される特殊な医療器具を洗浄・消毒する」については、どの医療機関タイプでも約9割の人が「とても期待する」としており、ピンセットやメスなどの一般的な医療器具の洗浄・消毒と同様に、期待値が高い。

Q5⑮：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 内視鏡等再使用される特殊な医療器具を洗浄・消毒する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



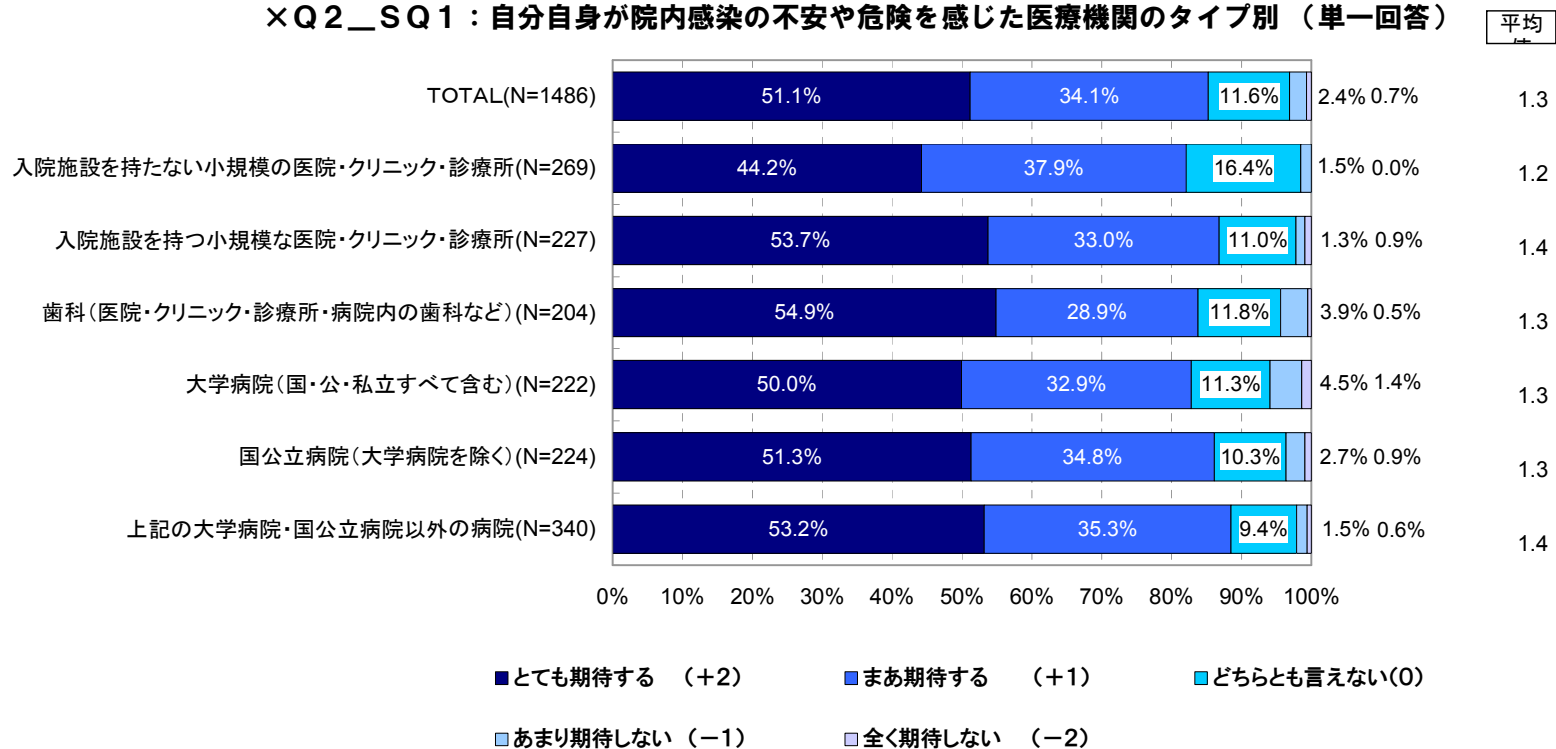
「診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態を適切に保つ」については、どの医療機関タイプでも「とても期待する」と「まあ期待する」を合わせると90%以上となり、期待値が高い項目である。

Q5⑩：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態を適切に保つ  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



「院内感染対策に積極的に取り組んでいることをホームページなどで告知する」ことへの「とても期待する」は「入院施設を持つ小規模な医院」「歯科」「大学病院・国公立病院以外の病院」で高い。

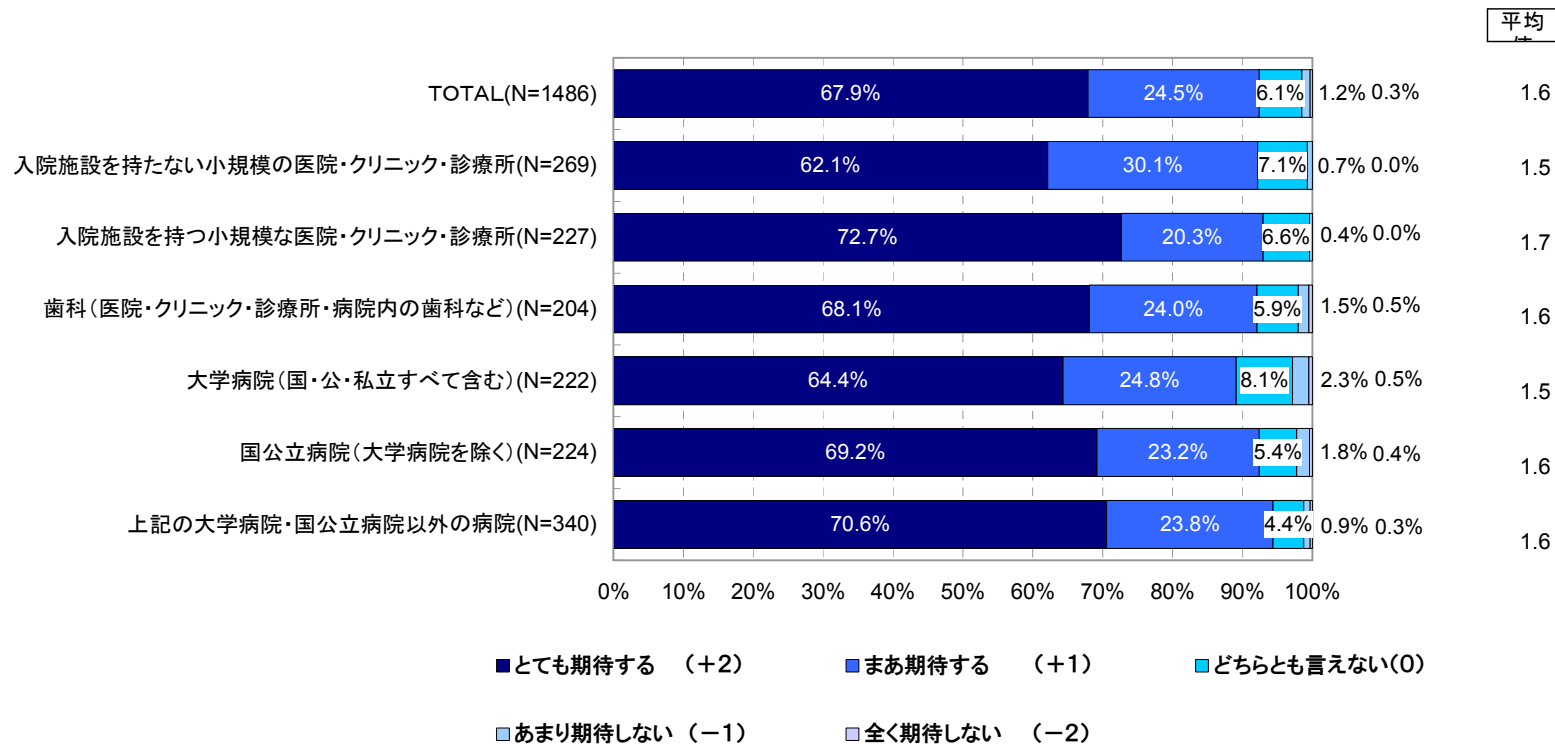
Q5⑰：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度  
 院内感染対策に積極的に取り組んでいることをホームページなどで告知する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）





「院内感染による感染率を広く社会に公表する」に対しては「入院施設を持つ小規模な医院」「大学病院・国公立病院以外の病院」で期待値が高い。

Q5⑱：院内感染防止に対する病院や医院の取り組みへの期待度 院内感染による感染率を広く社会に公表する  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）

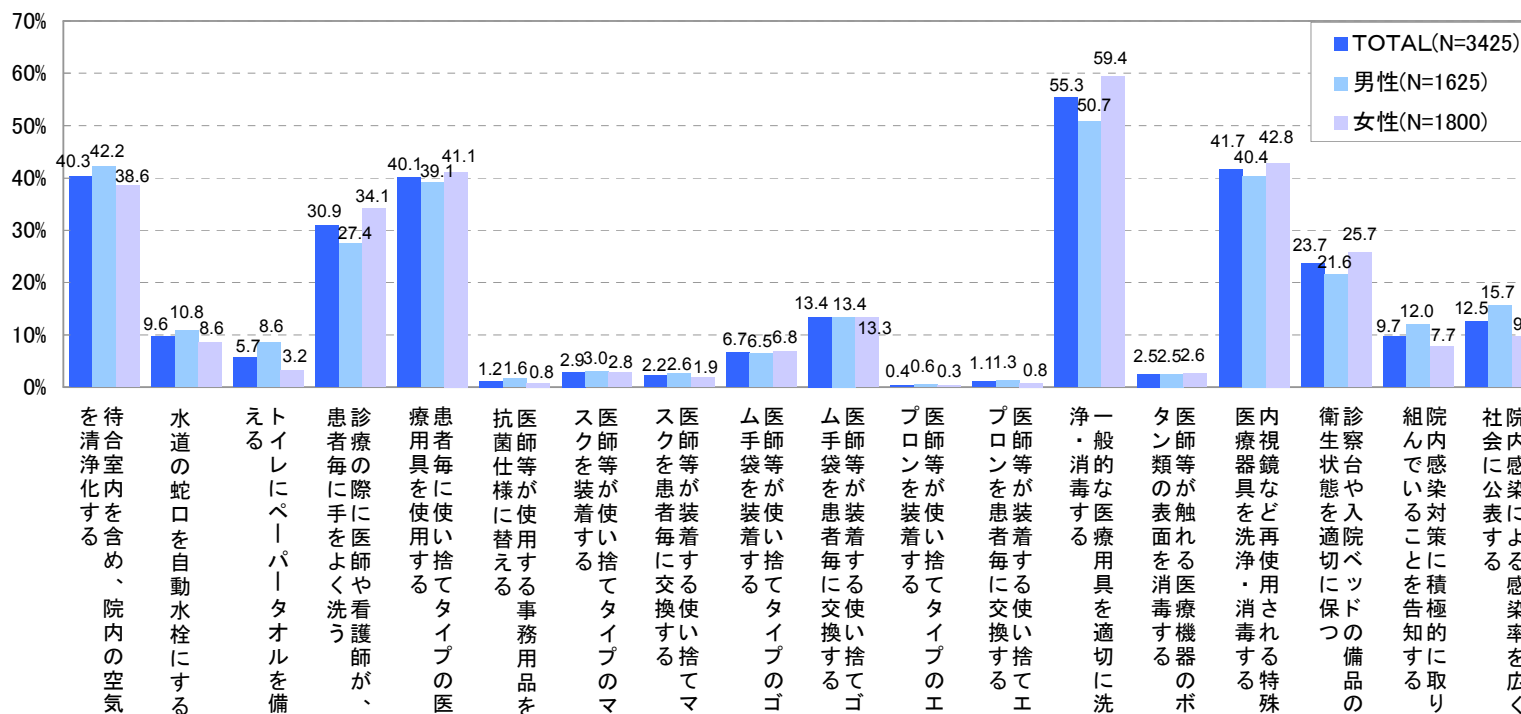


# Q6.院内感染防止に積極的に取り組んでいると思う医療機関を選ぶ際に重視する項目 Q6 \* 性



男性と女性で重視する割合に違いが見られるのは「一般的な医療器具を適切に洗浄・消毒する」「診療の際に医師や看護師が患者ごとに良く手を洗う」（女性>男性）、「待合室内を含め院内感染の空気清浄化する」「院内感染対策に取り組んでいること」を積極的に告知する」「院内感染による感染率を広く社会に公表する」（男性>女性）

Q6：院内感染防止に積極的に取り組んでいると思う病院や医院を選ぶ際に重要視すること  
× F2：性別（3つ回答）



# Q6\*エリア

院内感染防止に積極的に取り組んでいる医療機関を選ぶ際の重視事項において、全体平均よりも高い項目に色をつけた。いずれも全体平均と比べ、目立って高い率を得ている。

Q6：院内感染防止に積極的に取り組んでいると思う病院や医院を選ぶ際に重要視すること（3つ回答）  
× F3：エリア

	待合室内を含め、院内の空気を清浄化する	水道の蛇口を自動水栓にする	トイレにペーパータオルを備える	診療の際に医師や看護師が、患者毎に手をよく洗う	患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用する	医師等が使用する事務用品を抗菌仕様にする	医師等が使い捨てタイプのマスクを着用する	医師等が着用する使い捨てマスクを患者毎に交換する	医師等が使い捨てタイプのゴム手袋を着用する	医師等が着用する使い捨てゴム手袋を患者毎に交換する	医師等が使い捨てタイプのエプロンを着用する	医師等が着用する使い捨てエプロンを患者毎に交換する	一般的な医療用具を適切に洗浄・消毒する	医師等が触れる医療機器のボタンの表面を消毒する	内視鏡など再使用される特殊医療器具を洗浄・消毒する	診察台や入院ベッドの備品の衛生状態適切に保つ	院内感染対策に積極的に取り組んでいることを告知する	院内感染による感染率を広く公表する
TOTAL(N=3425)	40.3	9.6	5.7	30.9	40.1	1.2	2.9	2.2	6.7	13.4	0.4	1.1	55.3	2.5	41.7	23.7	9.7	12.5
北海道(N=149)	29.5	8.7	6.7	30.2	45.0	0.0	1.3	2.0	8.7	14.8	0.7	1.3	57.0	2.7	49.0	23.5	6.7	12.1
東北(N=256)	44.1	11.3	9.4	30.5	39.8	0.8	1.6	1.6	6.3	8.2	0.0	0.0	57.8	3.9	41.8	19.9	10.9	12.1
関東(N=202)	36.1	6.9	3.5	30.7	36.1	0.5	5.9	3.5	6.9	15.3	0.5	0.5	50.0	2.5	49.0	25.2	11.4	15.3
京浜(N=967)	42.5	10.0	6.5	31.0	39.6	1.6	3.2	2.2	6.5	12.0	0.4	0.9	54.0	2.1	38.6	24.0	12.2	12.7
北陸(N=205)	33.7	13.7	5.9	27.3	40.0	2.0	2.9	2.4	8.3	13.7	0.0	0.5	56.6	2.0	46.8	25.9	9.8	8.8
東海(N=402)	43.3	8.5	5.2	30.8	41.8	0.7	2.2	1.0	9.2	14.7	0.7	0.7	56.2	3.2	38.3	22.1	8.2	12.9
京阪神(N=572)	40.4	7.9	4.0	32.2	40.0	1.7	1.7	3.3	6.1	15.0	0.9	1.2	54.9	2.6	43.0	23.8	8.7	12.4
中国(N=203)	38.9	11.8	5.9	30.5	37.4	0.5	2.0	1.5	5.9	11.3	0.0	1.0	58.6	3.9	39.9	28.6	8.4	13.8
四国(N=103)	35.9	12.6	6.8	25.2	36.9	0.0	5.8	1.0	5.8	13.6	0.0	1.9	58.3	1.0	47.6	31.1	6.8	9.7
九州(N=366)	40.7	8.7	4.6	33.6	42.9	1.4	4.4	2.7	4.4	15.8	0.0	2.5	55.2	1.6	41.0	20.8	7.4	12.3

# Q6\*Q1

院内感染の認知別に、院内感染防止に積極的に取り組んでいる医療機関を選ぶ際の重視事項において、全体平均よりも高い項目に色をつけた。「今初めて聞いた」～「意味は知っているが報道や記事を見聞きしたことはない」という認知の低い層人では医師等の「自動水栓/ペーパータオル/マスク/ゴム手袋/エプロン」などベーシックな項目において全体平均よりも重視されている項目が多い。一方、認知の程度が高くなるにしたがって「内視鏡等再使用される特殊な医療器具を洗浄・消毒する」がより重視されている。

Q6：院内感染防止に積極的に取り組んでいると思う病院や医院を選ぶ際に重要視すること（3つ回答）  
× Q1：院内感染の認知

	待合室内を含め、院内の空気を浄化する	水道の蛇口を自動水栓にする	トイレにペーパータオルを備える	診療の際に医師や看護師が、患者の手をよく洗う	患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用する	医師等が使用する事務用品を抗菌仕様にする	医師等が使い捨てタイプのマスクを着用する	医師等が着用する使い捨てマスクを患者毎に交換する	医師等が使い捨てタイプのゴム手袋を着用する	医師等が着用する使い捨て手袋を患者毎に交換する	医師等が着用する使い捨てエプロンを患者毎に交換する	医師等が着用する使い捨てエプロンを患者毎に交換する	一般的な医療器具を適切に洗浄・消毒する	医師等が触れる医療機器のボタン類の表面を消毒する	内視鏡など再使用される特殊な医療器具を洗浄・消毒する	診察台や入院ベッドの備品の衛生状態を適切に保つ	院内感染対策に積極的に取り組んでいることを告知する	院内感染による感染率を広く公表する
TOTAL(N=3425)	40.3	9.6	5.7	30.9	40.1	1.2	2.9	2.2	6.7	13.4	0.4	1.1	55.3	2.5	41.7	23.7	9.7	12.5
今初めて聞いた(N=16)	37.5	18.8	31.3	25.0	31.3	0.0	6.3	18.8	12.5	18.8	6.3	0.0	43.8	0.0	18.8	6.3	6.3	18.8
聞いたことはあったが意味は知らない(N=147)	45.6	5.4	6.1	31.3	41.5	2.0	4.1	3.4	7.5	12.2	0.0	2.0	49.7	2.7	36.1	27.2	10.9	12.2
意味は知っているが報道や記事を見聞きしたことはない(N=223)	43.9	9.4	7.2	32.7	34.5	0.9	3.1	0.9	4.9	10.3	0.4	0.9	58.3	3.6	40.8	28.7	9.9	9.4
具体的な報道や記事を見聞きしたことがある(N=2835)	39.9	9.8	5.6	31.0	40.7	1.3	2.7	2.2	6.5	13.5	0.4	1.0	55.7	2.5	41.7	23.4	9.6	12.4
自分自身または家族・知人がかかった人がいる(N=204)	38.2	8.8	3.4	28.9	37.7	0.0	4.4	2.0	9.8	14.7	1.0	1.5	50.5	1.0	48.0	22.5	10.8	16.7

院内感染防止に積極的に取り組んでいる医療機関を選ぶ際の重視事項においてこれまでに院内感染の不安を経験した高い層で重視されている項目は以下のとおり。

Q6：院内感染防止に積極的に取り組んでいると思う病院や医院を選ぶ際に重要視すること（3つ回答）  
 × Q2：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた経験

	待合室内を含め、院内の空気を清浄化する	水道の蛇口を自動水栓にする	トイレにペーパータオルを備える	診療の際に医師や看護師が、患者毎に手をよく洗う	患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用する	医師等が使用する事務用品を抗菌仕様にする	医師等が使い捨てタイプのマスクを着用する	医師等が装着する使い捨てマスクを患者毎に交換する	医師等が使い捨てタイプのゴム手袋を着用する	医師等が装着する使い捨てゴム手袋を患者毎に交換する	医師等が使い捨てタイプのエプロンを装着する	医師等が装着する使い捨てエプロンを患者毎に交換する	一般的な医療用具を適切に洗浄・消毒する	医師等が触れる医療機器のボタン類の表面を消毒する	内視鏡など再使用される特殊医療器具を洗浄・消毒する	診察台や入院ベッドの備品の衛生状態を適切に保つ	院内感染対策に積極的に取り組んでいることを告知する	院内感染による感染率を広く公表する
TOTAL(N=3425)	40.3	9.6	5.7	30.9	40.1	1.2	2.9	2.2	6.7	13.4	0.4	1.1	55.3	2.5	41.7	23.7	9.7	12.5
よくあった(N=96)	▲ 52.1	16.7	5.2	24.0	35.4	1.0	1.0	1.0	5.2	▲ 18.8	1.0	1.0	42.7	3.1	40.6	18.8	▲ 12.5	▲ 19.8
時々あった(N=284)	▲ 51.4	6.7	5.3	▲ 34.2	39.8	1.1	2.8	2.1	5.6	▲ 16.2	0.4	1.1	53.2	2.8	32.0	25.0	8.8	11.6
少しはあった(N=1106)	▲ 45.8	10.0	6.0	▲ 34.3	37.7	0.8	2.4	1.8	6.4	▲ 11.8	0.5	1.0	52.9	3.1	41.7	22.2	9.2	12.3
めったになかった(N=955)	37.2	7.1	4.5	31.4	40.6	1.3	3.6	2.2	6.3	13.7	0.2	0.7	57.7	2.2	46.7	23.7	9.9	11.0
全くなかった(N=943)	32.6	11.9	6.7	26.2	43.2	1.5	3.0	2.8	7.4	13.7	0.3	1.5	57.9	2.1	40.2	25.5	10.4	13.4
病院・医院にかかったことがない(N=41)	36.6	7.3	9.8	34.1	39.0	4.9	4.9	7.3	17.1	9.8	2.4	0.0	46.3	0.0	29.3	29.3	2.4	19.5

# Q6\*Q2SQ1

院内感染の不安を感じた医療機関のタイプ別に、院内感染防止に積極的に取り組んでいる医療機関を選ぶ際に重視する程度が全体平均よりも高い項目に色をつけた。これはつまり各医療機関が一般生活者によって評価判断される基準項目＝今後取り組むべき項目と考えられる。

Q6：院内感染防止に積極的に取り組んでいると思う病院や医院を選ぶ際に重要視すること（3つ回答）  
 × Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ

	待合室内を含め、院内の空気を清浄化する	水道の蛇口を自動水栓にする	トイレにペーパータオルを備える	診療の際に医師や看護師が、患者の手をよく洗う	患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用する	医師等が使用する事務用品を抗菌仕様にする	医師等が使い捨てタイプのマスクを着用する	医師等が着用する使い捨てマスクを患者毎に交換する	医師等が使い捨てタイプのゴム手袋を着用する	医師等が着用する使い捨てエプロンや手袋を患者毎に交換する	医師等が着用する使い捨てエプロンを患者毎に交換する	一般的な医療器具を適切に洗浄・消毒する	医師等が触れる医療機器の表面を消毒する	内視鏡など再使用される特殊医療器具を洗浄・消毒する	診察台や入院ベッドの衛生状態を適切に保つ	院内感染対策に積極的に取り組んでいることを告知する	院内感染による感染率を広く公表する	
TOTAL(N=1486)	47.3	9.8	5.8	33.6	38.0	0.9	2.4	1.8	6.2	13.1	0.5	1.0	52.3	3.0	39.8	22.5	9.4	12.7
入院施設を持たない小規模の医院・クリニック・診療所(N=269)	54.6	7.4	8.6	36.1	36.4	0.7	0.4	1.5	4.5	10.4	0.4	1.5	56.5	1.9	36.1	24.2	9.3	9.7
入院施設を持つ小規模な医院・クリニック・診療所(N=227)	48.9	15.0	7.9	31.3	37.0	0.4	3.5	3.1	7.5	14.5	0.4	1.3	47.6	2.6	34.4	22.9	8.8	12.8
歯科(医院・クリニック・診療所・病院内の歯科など)(N=204)	21.6	8.8	2.9	31.9	42.2	1.5	4.4	2.0	8.3	26.0	1.0	2.5	59.3	3.9	49.0	14.2	10.3	10.3
大学病院(国・公・私立すべて含む)(N=222)	49.1	9.9	5.9	33.8	40.5	0.9	2.3	2.3	5.0	10.8	1.4	0.9	49.5	3.2	36.5	24.3	9.0	14.9
国公立病院(大学病院を除く)(N=224)	50.0	7.1	5.8	32.1	37.5	1.8	2.2	0.9	8.0	10.3	0.4	0.4	49.6	4.5	41.1	23.7	9.4	15.2
上記の大学病院・国公立病院以外の病院(N=340)	52.9	10.6	3.8	35.0	35.9	0.3	2.4	1.5	5.0	9.7	0.0	0.0	51.5	2.6	42.1	24.1	9.4	13.2

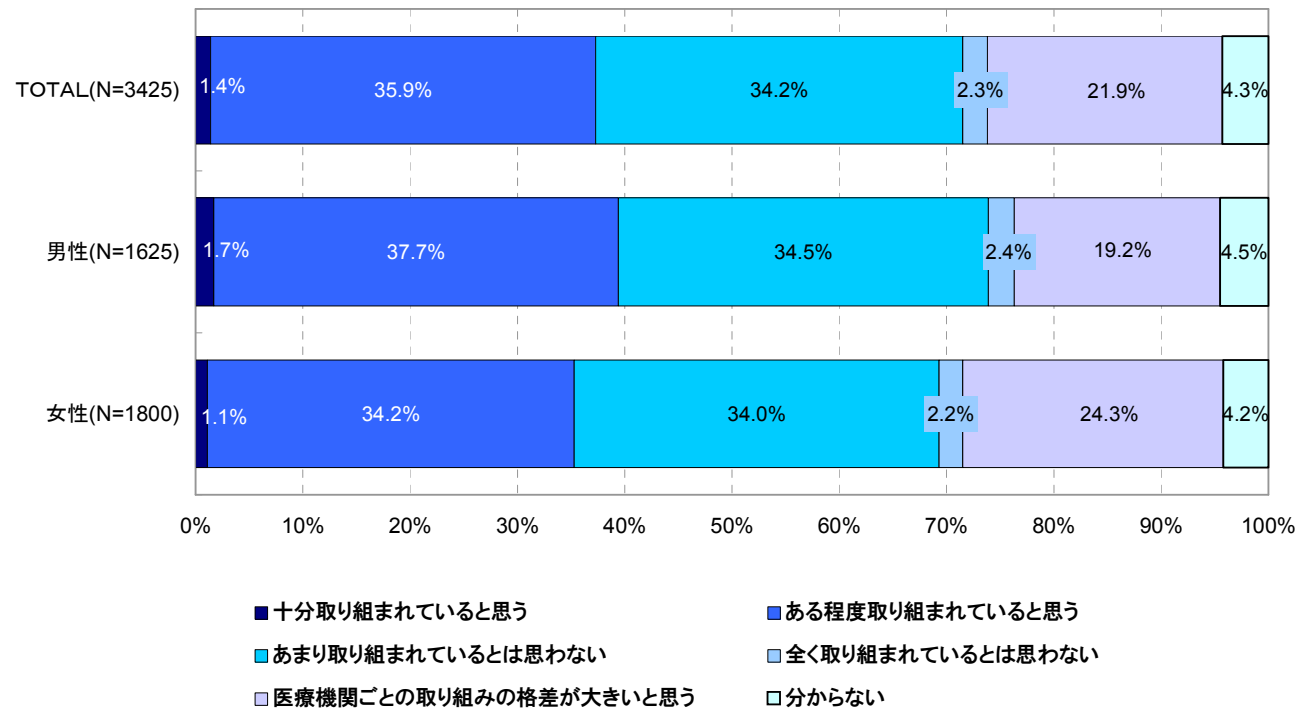
# Q7:今日の我が国の医療機関における院内感染防止に対する取り組みについての意見

## Q7\*性



男性に比べ女性の方が院内感染に対する取り組みに低い評価をしている。「医療期間ごとの取り組みの格差が大きい」との意見も女性で多い。院内感染に関する認識が高い分、評価は辛口である。

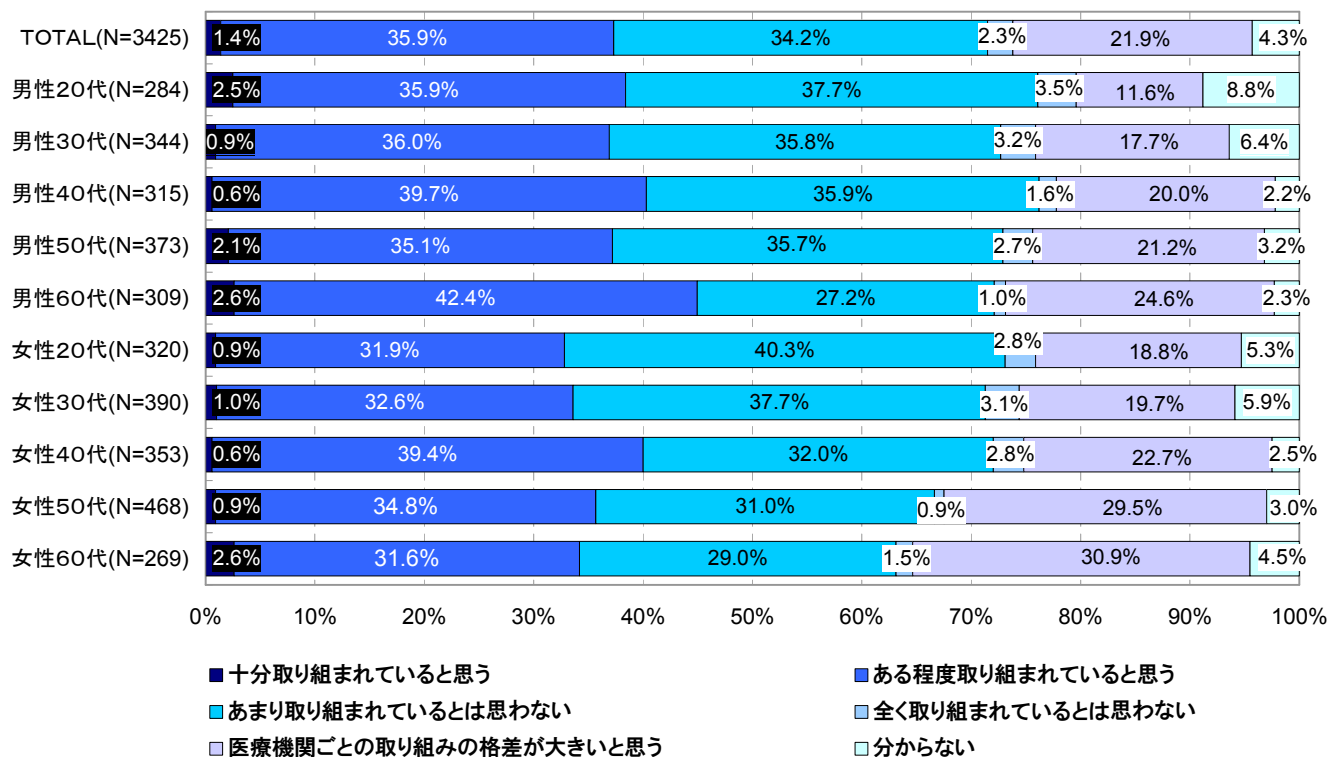
Q7：我が国の医療機関における院内感染防止に対する取り組みについて  
× F 2：性別（単一回答）



# Q7\*性年齢

我が国の医療機関の院内感染への取り組みに対する評価は全体に女性に比べ男性の方が高評価の傾向。特に男性60代では他の層に比べ目立って高い評価をしている。「医療機関ごとの取り組みの格差が大きい」という意見については男性より女性の方が多く、女性の中でも特に50代・60代ではその意見が多い。

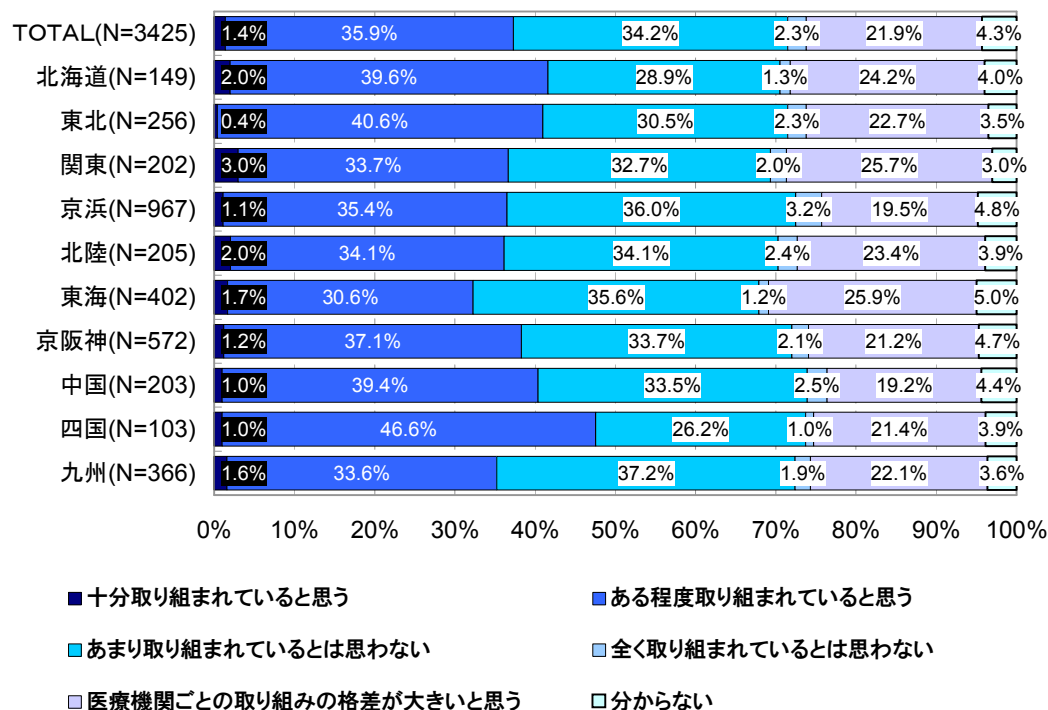
Q7：我が国の医療機関における院内感染防止に対する取り組みについて  
× F1：性年齢別（単一回答）





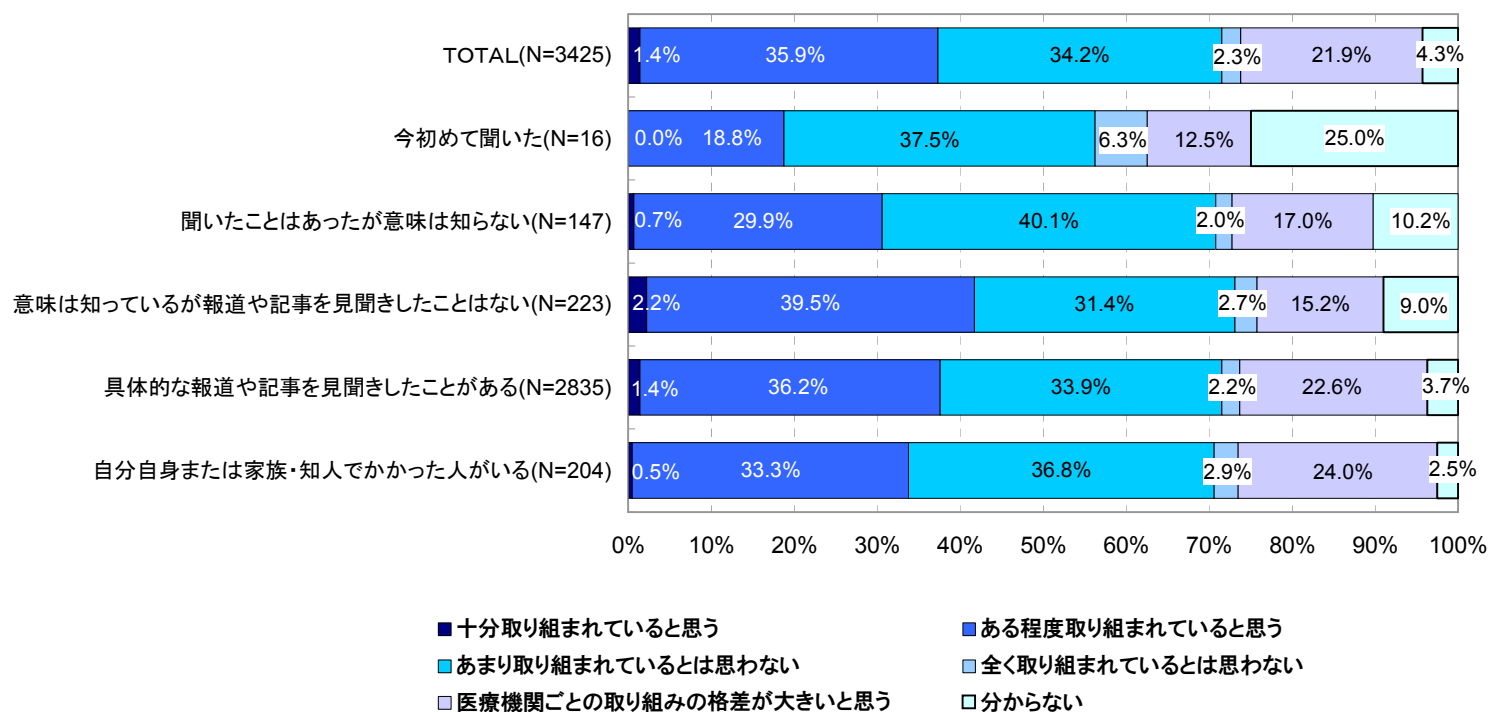
北海道・関東・北陸では「十分取り組まれていると思う」が全体平均をわずかながら上回る。「十分取り組まれていると思う」と「ある程度取り組まれていると思う」を合わせた肯定的評価合計は北海道・東北・中国・四国・京阪神で平均より高い。

Q7：今日の我が国の医療機関における院内感染防止に対する取り組みについての意見  
×F3 エリア別（単一回答）



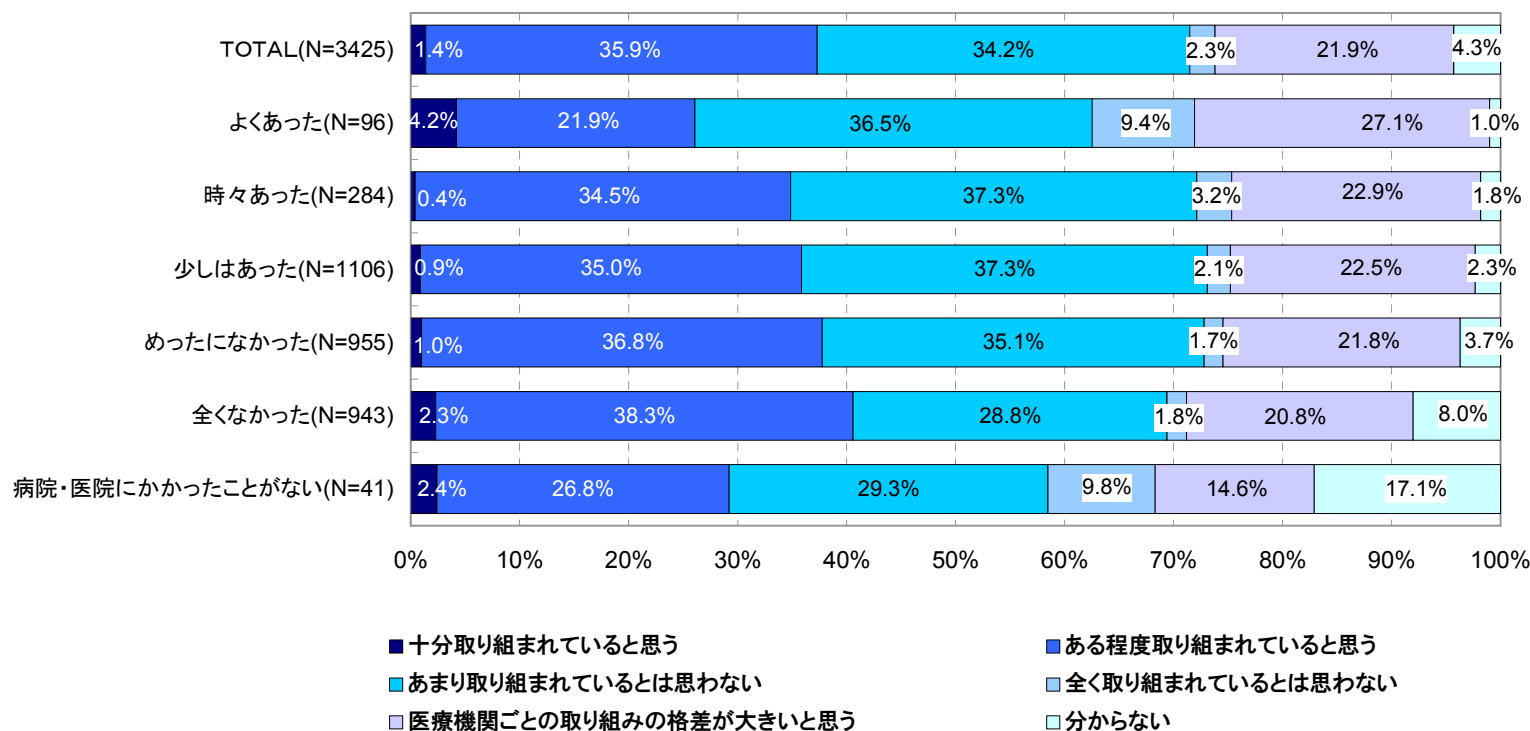
院内感染についての認知状況別に、我が国の医療機関における院内感染防止への取り組みの評価を見ると「意味は知っているが報道や記事を見聞きしたことはない」層では他の層よりも取り組みを評価している（「十分取り組まれている」+「ある程度取り組まれている」）。逆に院内感染に関する認知が高い層（「具体的な報道・記事を見聞きしたことがある」または「自分自身または家族・知人でかかった人がいる」）では「医療機関ごとの取り組みの格差が大きい」との意見が相対的に高い。

Q7：我が国の医療機関における院内感染防止に対する取り組みについて  
× Q1：院内感染の認知（単一回答）



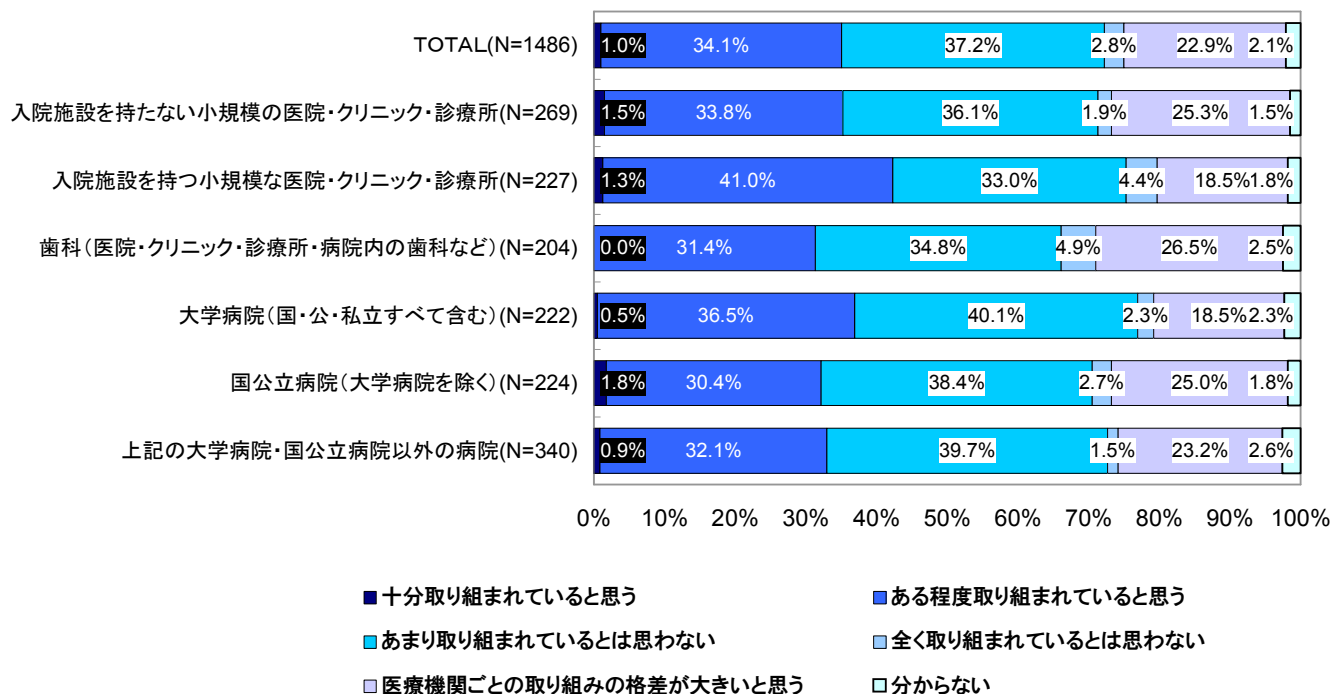
自分自身が院内感染の不安を感じた経験の頻度別に、我が国の医療機関における院内感染防止への取り組みの評価を見ると不安を感じた経験頻度が高い層では取り組みへの評価が低く「医療機関ごとの取り組みの格差が大きい」との意見が相対的に高い。

Q7：我が国の医療機関における院内感染防止に対する取り組みについて  
 × Q2：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた経験（単一回答）



院内感染の不安を感じた医療機関タイプ別に、今日の我が国の医療機関の院内感染防止への取り組みに関する意見をみると、歯科や国公立病院・一般病院で院内感染の不安を感じた人は他の場所で不安を感じた人よりも取り組みに対しての評価が低いことが分かる。

Q7：今日の我が国の医療機関における院内感染防止に対する取り組みについての意見  
 ×Q2\_SQ1：自分自身が院内感染の不安や危険を感じた医療機関のタイプ別（単一回答）



## Q8.これまでの医療経験 Q8\*性年齢

これまでの医療経験でどの層でも最も多いのが歯科治療。男性に比べ30代以降女性は入院が多いが、出産のための入院も含まれているためと思われる。

Q8：これまでの医療経験について（複数回答）× F1：性年齢別

	入院(入院日数は問わない、出産のための入院も含む)	人工透析	内視鏡	手術(日帰り手術も含む)	輸血	産婦人科治療(出産含む)	歯科治療	眼科治療	耳鼻咽喉科治療	あてはまるものはひとつもない
TOTAL(N=3425)	67.4	0.3	32.7	44.8	7.2	38.5	94.0	63.5	62.9	1.3
男性20代(N=284)	44.4	1.1	8.1	32.4	6.0	0.4	89.8	60.6	69.7	3.5
男性30代(N=344)	49.7	0.3	23.5	35.5	5.2	0.3	90.1	60.5	65.4	4.1
男性40代(N=315)	62.5	0.0	37.1	46.7	6.7	0.6	92.4	54.0	53.0	2.2
男性50代(N=373)	64.6	0.3	43.2	49.1	9.7	0.3	92.0	48.3	53.1	2.1
男性60代(N=309)	66.3	0.0	62.1	58.6	9.7	0.0	93.5	51.8	51.5	0.0
女性20代(N=320)	50.9	0.6	11.9	30.0	2.8	43.1	92.5	76.6	72.5	1.3
女性30代(N=390)	73.1	0.3	21.0	39.7	4.6	72.1	96.2	71.0	68.5	0.3
女性40代(N=353)	85.3	0.3	35.4	51.8	6.8	83.0	98.6	75.1	75.9	0.0
女性50代(N=468)	84.4	0.0	36.3	49.6	7.9	83.8	97.2	65.6	60.3	0.2
女性60代(N=269)	82.9	0.0	48.3	53.5	13.4	78.4	95.2	71.4	58.7	0.4